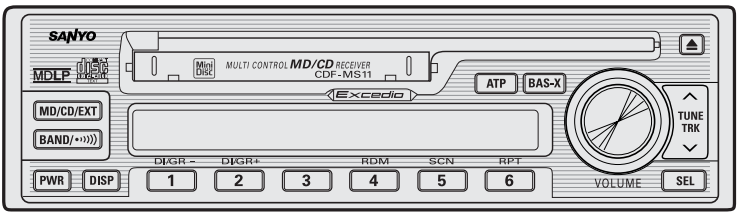
取扱説明書

SANYO

MD/CDチューナー搭載 1DINレシーバー
品番 CDF-MS11

お買い上げいただきまことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
なお、お読みになった後はいつでも取り出せるところに保証書と共に
大切に保管してください。



はじめに 3ページ～
共通操作 18ページ～
CDの操作 25ページ～
MDの操作 31ページ～
ラジオの操作 36ページ～
チェンジャーの操作 41ページ～
その他 46ページ～

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT

MiniDisc MDLP

包装箱に表示している品番、CDF-MS11(S) , (K)など( )内の記号は色記号です。
(S):シルバー (K):ブラック
説明書では色記号の表示を省略しています。

もくじ

はじめに

主な特長……3
安全上のご注意……5
使用上のご注意……10
CDの取り扱いかた……11
MDの取り扱いかた……12
各部の名称とはたらき……13
表示部のみかた……17

共通操作

電源を入れる／切るには……18
オーディオ調節をするには……19
　音量調節するには……19
　低音域を強調するには……19
　BAS／TRE／BAL／FAD調節するには……20
いろいろな設定をするには……21
　表示部の明るさを変えるには……21
　イルミネーションの減光の有無を選択するには……21
　タイトルを自動的にスクロールさせるには……22
　ボタン操作音の有無を選択するには……22
優先表示を切り換えるには……23
時刻合わせのしかた……24
　時報合わせをするには……24

CDの操作

CDを聞くには
　ディスクを挿入するには……25
　音量／音質を調節するには……26
　ディスクを取り出すには……26
　CDモードにするには……27
　好きな曲を選ぶには……27
　曲途中の好きなところを探すには（早送り／早戻し）……28
いろいろな演奏をするには
　リピート（繰り返し）／ランダム（順序不同）／スキャン（イントロ）演奏……29
表示を切り換えるには
　演奏時間／ディスク名／トラック名／時計を表示させるには……30

MDの操作

MDを聞くには
　ディスクを挿入するには……31
　音量／音質を調節するには……31
　ディスクを取り出すには……31
　MDモードボタンにするには……32
　好きな曲を選ぶには……32
　曲途中の好きなところを探すには（早送り／早戻し）……32

MDの操作

いろいろな演奏をするには
リピート（繰り返し）演奏、ランダム（順序不同）演奏、スキャン（イントロ）演奏……33
グループ機能について
好きなグループを選ぶには ……34
グループリピート（グループを繰り返し）／グループランダム（グループの順序不同）／
グループスキャン（グループのイントロ）演奏……34
表示を切り換えるには ……35
演奏時間／ディスク名／グループ名／トラック名／時計を表示させるには …35

ラジオの操作

ラジオ放送を聞くには
ラジオ放送を聞くには ……36
バンドを選ぶには ……36
選局（エリア選局／手動選局／自動選局）するには ……37、38
周波数表示するには ……37
ラジオモードボタンについて ……38
道路交通情報を聞くには ……38
放送局をメモリーするには
放送局を手動でメモリーするには（プリセット選局） ……39
手動でメモリーした放送局を呼び出すには ……39
放送局を自動でメモリーするには（オートトラベル プリセット（ATP）選局） …40
自動でメモリーしたATP局を呼び出すには……40

チェンジャーの操作

各部の名称とはたらき ……41
操作の前に ……42
チェンジャーモードボタンについて ……42
演奏するには
聞きたいディスクを選ぶには ……43
好きな曲を選ぶには ……43
曲途中の好きなところを探すには（早送り／早戻し） ……43
いろいろな演奏をするには ……44、45
リピート（繰り返し）／ランダム（順序不同）／スキャン（イントロ）／
ディスクリピート（ディスク繰り返し）／ディスクランダム（ディスクの順序不同）／
ディスクスキャン（ディスクのイントロ）演奏

その他

メッセージ表示について ……46
取り付けの前に ……47
配線のしかた ……49
取り付けかた ……51
故障かな？と思ったら ……52
主な仕様 ……54
アフターサービスについて ……55
エリア選局メモリー局一覧表 ……56

主な特長

CD部

- **タイトル表示**
  CDに記録されているディスク名や曲名を演奏中に表示させることができます。

  文字情報が記録されているディスクには左のマークがついています。
- **演奏時間表示**
  トラック経過時間を表示することができます。
- **8cm CD対応**　8cm CDをアダプターなしで自動演奏することができます。
- **スキャン機能**　各曲のイントロを約10秒間ずつ演奏します。
- **リピート機能**　お気に入りの曲を、繰り返し聞くことができます。
- **ランダム（順序不同演奏）機能**
  演奏中のディスクのすべての曲を順序不同で演奏します。

MD部

- **MDLP再生対応**
  録音時間を最長4倍にしたMDLPも再生することができます。
  80分ディスクなら通常録音80分、LP2（2倍モード）は160分、
  LP4（4倍モード）は320分の再生が可能です。
- **タイトル表示**
  MDに記録されているディスク名や曲名を演奏中に表示させることができます。
  （文字情報／英語）文字情報が記録されているディスクには左のマークがついています。
- **演奏時間表示**
  トラック経過時間を表示することができます。
- **スキャン機能**　各曲のイントロを約10秒間ずつ演奏します。
- **リピート機能**　お気に入りの曲を、繰り返し聞くことができます。
- **ランダム（順序不同演奏）機能**
  演奏中のディスクのすべての曲を順序不同で演奏します。
- **グループ機能***
  長時間録音可能となったMDLPモードのディスクを操作するときに便利です。
  - **グループタイトル表示**
    グループのタイトルを表示します。
  - **グループ単位でのスキップ操作**
    グループごとにスキップできます。
  - **グループスキャン機能**
    グループのイントロを約10秒間ずつ演奏し、次のグループへ移る動作を繰り返します。
  - **グループリピート機能**
    グループ内のトラックのみを繰り返し聞くことができます。
  - **グループランダム機能**
    演奏中のグループ内の中から順序不同でグループ内のすべてのトラックを演奏します。

＊グループ機能はグループ登録されたディスクの場合に限り、操作可能となります。

ラジオ部	●**道路交通情報ボタン** ワンタッチで、1620kHzに合わせることができます。 （ラジオモード以外でも可能） ●**エリア選局** 全国42地域（エリア）のFM／AM放送局があらかじめメモリーされています。エリアを選ぶと、そのエリアの放送局をプリセットボタンで呼び出すことができます。 ●**自動選局**　放送局を自動的に選局します。 ●**オートトラベル プリセット（ATP）** FM6局とAM6局を自動的にプリセットできます。 ●**プリセット**　FM12局、AM12局をプリセットできます。
その他	●**各種設定機能** ボタン操作音の有無の選択、タイトルの自動スクロール設定、表示部の明るさ調節、イルミネーションのON／OFFや時間設定ができます。 ●**チェンジャー コントローラー内蔵** 別売のCDチェンジャー（CDF-C61J3）を本機で操作できます。 ●**時計付き** ●**45W×4 ハイパワー** ●**4スピーカー フェダーコントロール**

US and foreign patents licensed from Dolby Laboratories Licensing Corporation.

本機には、上記内容のラベルが貼付されています。これは、本機がドルビー・ラボラトリーズ・ライセンシング株式会社とのライセンス契約のもとに製造されたことを示すものです。

安全上のご注意(1)

- **ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。**
- **お読みになったあとはいつでも見られる所に必ず保管してください。**
- **この取扱説明書および本機の表示では、ご本人や周囲の人々が危害や損害を負うことなく、本機を安全に正しく使用していただくために、いろいろな注意事項を表示しています。**

注意事項は、それを守らなかった場合に起こりうる危害や損害の程度によって、「⚠警告」、「⚠注意」の2つに区分しています。

⚠警告： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容であることを示しています。

⚠注意： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容であることを示しています。

また、注意内容の性質を絵表示で示しています。

：△記号は**気をつけなければならないこと**であることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描いてあります。

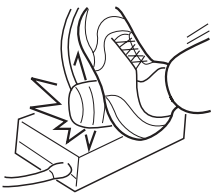
：⃠記号は**してはいけないこと**であることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描いてあるものもあります。

：●記号は**しなければならないこと**であることを告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は一般的な指示)が描いてあります。

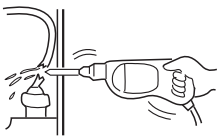
⚠警告

本機は12V車専用です。**24Vの車（トラック、バスなど）では使用しないでください。**火災などの原因となります。

本機を、前方の視界を妨げる場所やハンドル・シフトレバー・ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。
交通事故やけがの原因となります。

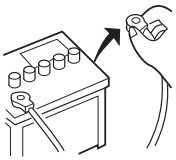


車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないよう注意してください。
火災の原因となります。



本機を取り付けるときやアースを取るときに、車体のボルトやナットを使用する場合は、ハンドル・ブレーキ系統やタンクなどの保安部品は絶対に使用しないでください。
これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してください。
ショート事故による感電やけがの原因となります。



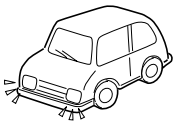
コード類は、運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。ハンドルやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。

安全上のご注意(2)

⚠ 警告

電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

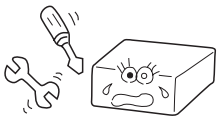
取り付けや配線が終わったら、ブレーキランプ、ライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、全ての電装品が正しく動くことをお確かめください。
交通事故の原因となります。



自動車の運転中にディスクの交換や音量調節等の操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行なってください。

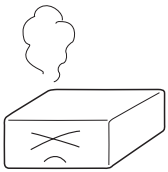
本機を分解したり、改造しないでください。
事故・火災・感電の原因となります。

分解禁止



表示が出ない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
事故・火災・感電の原因となります。

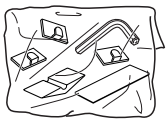
万一、異物が入った・水や飲みものがかかった・煙が出る・変な匂いがするなど異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。



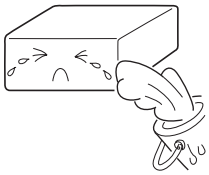
⚠ 注意

本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

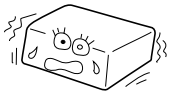
必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、本機内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けはさけてください。
本機に水や湿気・ほこりが混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。



振動の多いところなど、しっかりと固定できないところへの取り付けはさけてください。
外れて事故やけがの原因となることがあります。



本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

説明書にしたがって、正しく配線してください。
正規の接続を行なわないと、火災や事故の原因となることがあります。

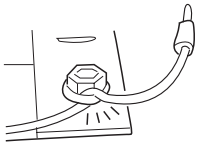
電源コード(赤と黄コード)の接続は、配線作業の最後に行なってください。ショート事故による感電やけがの原因となることがあります。

左右のスピーカーの⊖側を共通線にしたり、車体にアースしないでください。ショート事故による感電やけがの原因となることがあります。

安全上のご注意(3)

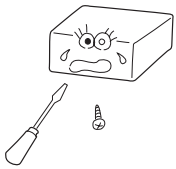
⚠ 注意

車体やねじ部分・シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないように注意してください。
断線やショートにより、事故や感電・火災の原因となることがあります。



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

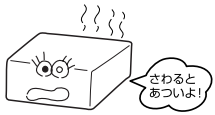
ディスク挿入口に異物を入れないでください。
火災や感電の原因となることがあります。



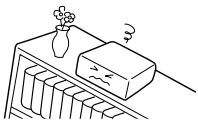
ディスク挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。

接触禁止

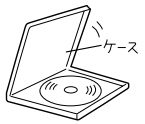
本機の電源が入っているとき、または、電源を切った直後などに、本機裏側の放熱板や、アンプに触れないでください。
高温のため、やけどの原因となることがあります。



本機を車載用として以外は使用しないでください。
感電やけがの原因となることがあります。

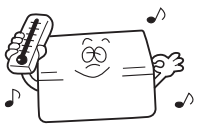


ご使用にならないときは、ディスクを取り出しておいてください。
長時間、本機内に入れておくと、高温等のために
ディスクを傷める原因となることがあります。



使用上のご注意

車内温度について



極端に寒いときや、極端に暑いときは、正常に作動しないことがありますが、このような時は、車内を適温にしてからご使用ください。

真夏など窓を閉めきった車内は相当な高温になります。本機の内部温度が基準以上の高温になると内部を保護する回路が働いて自動的にディスクの再生をストップしてイジェクトされます。このような時は窓を開けて、車内の温度を下げてからご使用ください。

結露について

雨の日、または湿度が非常に高いとき、または寒いときヒーターをつけた直後など本機内部の光学系レンズに露(水滴)が生じることがあります。
このままですとレーザーによる読み取りができず本機が正常に作動しないことがあります。
このような時には周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ正常に作動するようになります。

液晶表示について

極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなることがありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示に戻ります。

CDの音とびについて

取り付けが悪かったり、極端に路面の悪い道路を走行する場合、音とびを生じることがあります。このような時は取付状態を確認し、路面の状態の良い道路にもどってからご使用ください。

8cm CDについて

本機では、8cm CDアダプターは必要ありません。
8cm CDも、12cm CDと同様に、そのまま挿入してください。
8cm CDアダプターを使用すると、故障の原因となります。

ディスクの保管について

ご使用にならないときは必ずディスクを抜き取っておいてください。
直射日光などの影響によってソリの原因となります。ディスクは必ずケースに入れ直射日光の当らない場所に保管してください。

コンパクトディスク

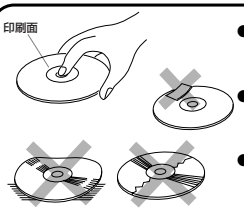
CDの取り扱いかた

コンパクトディスクの汚れや、ゴミ、キズ、ソリなどが音とび、音質の低下など誤動作の原因となることがあります。美しい音で楽しめるよう次のことにご注意ください。

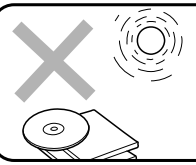
- ●左記マークのついているコンパクトディスク以外は使用できません。
- ●CD−R／RWはディスクの特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。●CD−ROMは再生できません。
- ●ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。本機の故障の原因となることがあります。

■コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）について

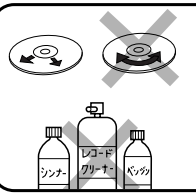
- ●ディスクレーベル面（印刷面）に〔CDロゴ〕 マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。
- ●パソコン等で複製防止を目的としたコピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）を再生させると、正常に再生できないことがあります。これは、コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）がCD規格に合致していないための現象であり、本機の異常ではありません。コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）の再生で問題がある場合は、コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）の発売元にお問い合わせください。



- ●ディスクを持つときは演奏面をできるだけさわらないようにしてください。
- ●印刷面や演奏面に紙やシールなどを貼り付けたり、キズを付けないようにしてください。
- ●セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクはお使いにならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障する原因となることがあります。
- ●ディスクは演奏中高速回転しますのでヒビの入ったディスクや大きくそったディスクは使用しないでください。



- ●そらないように必ずケースにいれ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので放置しないでください。

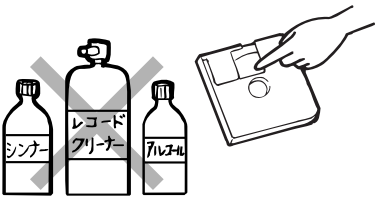


- ●使用する前に、演奏面についたホコリやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
- ●レコードスプレー、帯電防止剤などは使用しないでください。またベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。

ミニディスク MDの取り扱いかた

ディスク本体がカートリッジに収納されているため、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱うことができます。しかし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因となることがあります。美しい音で楽しめるよう次のことにご注意ください。

左記マークのついているミニディスクをご使用ください。

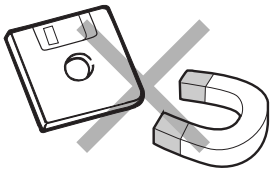


シャッターをあけないでください。

シャッターをあけてディスク表面に触れたり、レコードクリーナーやアルコール、シンナーなどの溶剤で拭いたりしないでください。

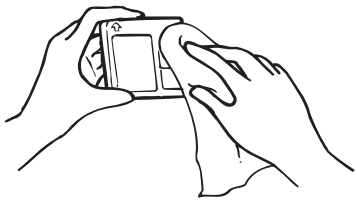
保管について

使わないときは必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所を避けて保管してください。
特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので放置しないでください。



録音用ディスクの保管について

録音用MDは磁気を帯たもの（磁石など）に近づけないでください。磁気の影響を受け、録音データが消去されるおそれがあります。



手入れについて

- 定期的に、カートリッジ表面についているホコリやゴミなどを乾いた布で拭きとってください。
- はがれかけたラベルは、きちんとはり直すか、新しいラベルと交換してください。

各部の名称とはたらき(1)

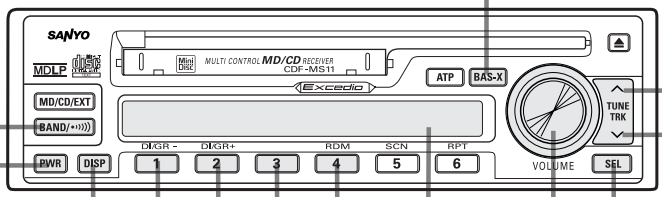
共通操作　●は参照ページです。

電源ボタン(PWR)
- 電源をON／OFFします。⑱
  ※OFF時に3秒以上押した場合は、エリア設定画面が表示されます。

道路交通情報ボタン(•))))
1.5秒以上押すと“◀T.INF▶”が表示され、道路交通情報を受信します。㊳

アップ ダウンボタン(∧, ∨)
- 時刻合わせに使用します。㉔
- イルミネーションの減光時間の設定に使用します。㉒

バス エクスパンダーボタン(BAS-X)
低音域を強調します。⑲



表示部

プリセットボタン4
イルミネーションの減光時間設定に使用します。㉑

プリセットボタン3
- 表示部の明るさ設定に使用します。㉑
- 時報合わせに使用します。㉔

プリセットボタン2
スクロールの動作選択の設定に使用します。㉑㉒

プリセットボタン1
- 優先表示切り換えに使用します。㉓
- 操作音の有無の設定に使用します。㉑㉒

レベル調節ツマミ
- オーディオ調節とトラック選択に使用します。
  このツマミだけ回すとVOLUME調節となります。⑲
- オーディオ操作モードで使用します。⑳
- 明るさ／タイトルスクロール／操作音／イルミネーション設定モード時に使用します。㉑㉒

セレクトボタン（SEL）
- 押すごとにオーディオ操作モードが切り換わります。⑳

→BAS→TRE→BAL→FAD→VOL→

CD／MD時は

→TRK→BAS→TRE→BAL→FAD→VOL→

- 4秒以上押すと、明るさ／タイトルスクロール／操作音／イルミネーション設定モードになります。㉑㉒

ディスプレイボタン(DISP)
- 約5秒間、モード表示 ◀▶時計表示を切り換えます。㉓
  ※このボタンを押したままで、プリセットボタン1を押すと、時計表示優先◀▶モード表示優先が切り換わります。
- このボタンを押したままで、アップダウンボタンを押すと、時計合わせができます。また、このボタンを押したままで、プリセットボタン3を押すと、時報合わせとなります。㉔

CDの操作　●は参照ページです。

ディスプレイボタン(DISP)
- CD演奏時、押すごとに表示が切り換わります。㉚

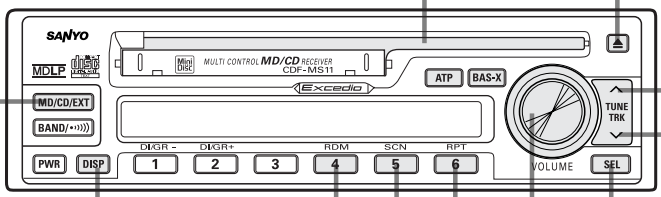
演奏時間 → ディスク名 → トラック名 → 時計表示

- ディスク名、トラック名が長すぎて一度に表示できない時、1.5秒以上押すと、表示をスクロールします。㉚

CDモードボタン(CD)
電源OFF状態やラジオモード、EXT(チェンジャー)モードより、CDモードに切り換えます。（本機にCDが挿入してある場合）㉗
※電源OFF状態、ラジオモードから切り換えたとき、EXTモードになった場合は、もう一度、このボタンを押してください。

イジェクトボタン(⏏)
CDを取り出すとき、押します。㉖

CD挿入口*㉕



セレクトボタン(SEL)
好きな曲をダイレクトに探すときに使用します。㉗

ランダムボタン(RDM)
演奏中のディスクのすべての曲を順序不同で演奏します。㉙

スキャンボタン(SCN)
曲の頭の部分を順次演奏します。㉙

レベル調節ツマミ
好きな曲をダイレクトに探すときに使用します。㉗

リピートボタン(RPT)
演奏中の曲を何度も繰り返し演奏します。㉙

トラック スキップボタン(へ, ∨)
好きな曲を選びます。また、演奏中にこのボタンを押し続けると、早送り(▶▶)または早戻し(◀◀)します。㉗㉘

***本機に挿入できるのは、MDまたはCDを1枚だけです。**

各部の名称とはたらき(2)

MDの操作　●は参照ページです。

ディスプレイボタン(DISP)
- MD演奏時、押すごとに表示が切り換わります。㉟

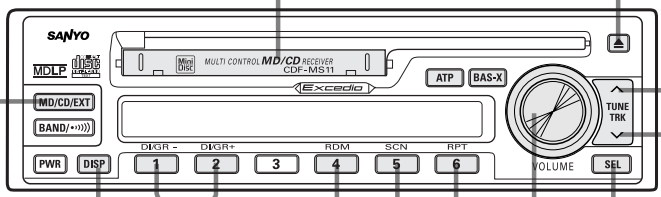
演奏時間 → ディスク名 → グループ名 → トラック名 → 時計表示

- ディスク名、グループ名、トラック名が長すぎて一度に表示できない時、1.5秒以上押すと、表示をスクロールします。㉟

MDモードボタン(MD)
電源OFF状態やラジオモード、EXT(チェンジャー)モードより、MDモードに切り換えます。（本機にMDが挿入してある場合）㉜
※電源OFF状態、ラジオモードから切り換えたとき、EXTモードになった場合は、もう一度、このボタンを押してください。

イジェクトボタン(⏏)
MDを取り出すとき、押します。㉛

MD挿入口*㉛



セレクトボタン(SEL)
好きな曲をダイレクトに探すときに使用します。㉜

グループセレクトボタン(−、+)
好きなグループを選びます。㉝㉞

ランダムボタン(RDM)
演奏中のディスクのすべての曲を順序不同で演奏します。㉝㉞

レベル調節ツマミ
好きな曲をダイレクトに探すときに使用します。㉜

スキャンボタン(SCN)
曲の頭の部分を順次演奏します。㉝㉞

トラック スキップボタン(へ, ∨)
好きな曲を選びます。また、演奏中にこのボタンを押し続けると、早送り(▶▶)または早戻し(◀◀)します。㉜

リピートボタン(RPT)
演奏中の曲を何度も繰り返し演奏します。㉝㉞

*本機に挿入できるのは、MDまたはCDを1枚だけです。

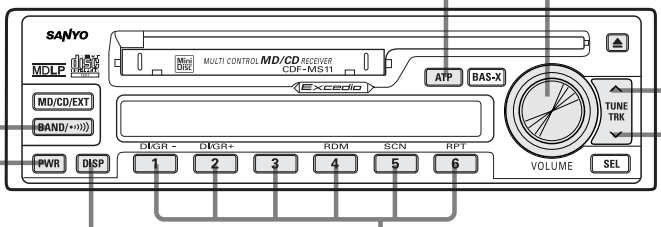
ラジオの操作　●は参照ページです。

電源ボタン(PWR)
電源を入れる時、電源ボタンを3秒以上押すと、エリア設定画面になります。㊱㊲

ラジオモードボタン(BAND)
- 電源OFF状態やCDモード、MDモード、EXT(チェンジャー)モードより、ラジオモードに切り換えます。㊱㊳
- FM1、FM2、AM1、AM2を切り換えます。㊱
- エリア設定画面で、エリアを決定するときに使用します。㊲

ATPボタン(ATP)
オートトラベルプリセット
FM6局、AM6局を自動的にプリセットします。
呼び出しは、ATPボタンを押す(1.5秒未満)ごとにプリセットされた順に呼び出します。㊵

レベル調節ツマミ
エリア設定モードでエリアを選ぶときに使用します。㊲



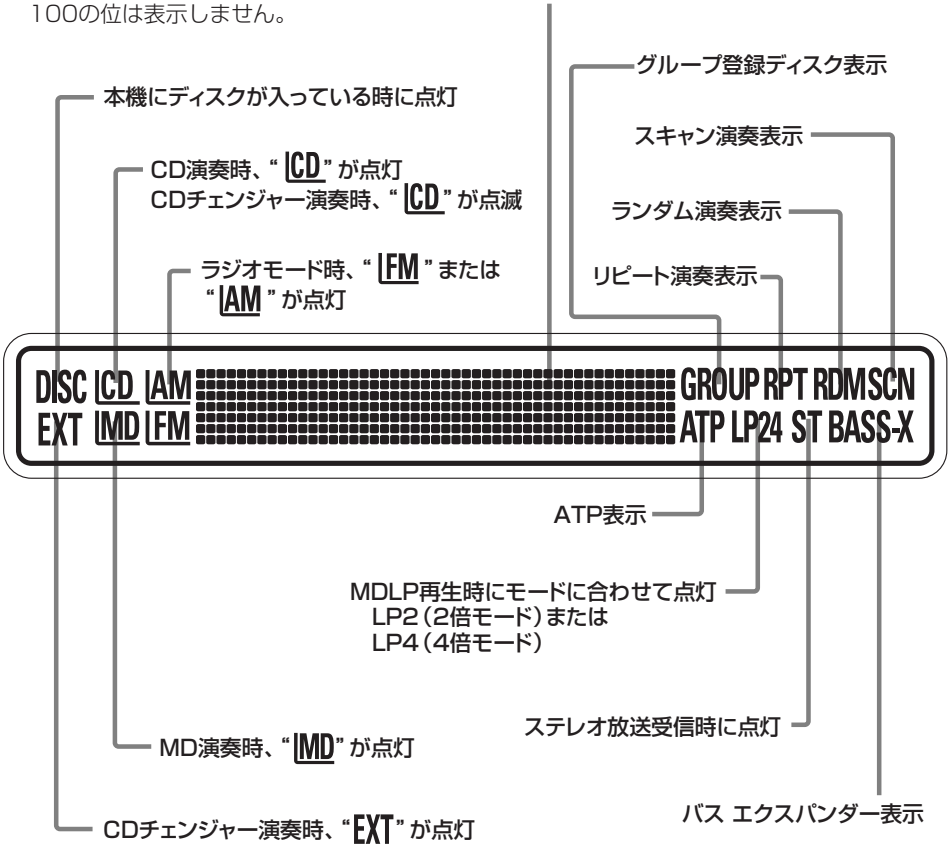
ディスプレイボタン(DISP)
- エリア選局した場合に、放送局←周波数 を切り換えます。㊲　└→時計 ┘
- 放送局名が長すぎて一度に表示できない時、1.5秒以上押すと、表示をスクロールします。㊲

アップ ダウンボタン
ラジオの選局に使用します。㊳

プリセットボタン
- 1.5 秒以上押すと、プリセットメモリーモードになります。プリセットメモリーモード時、このボタンでチャンネルを選び、1.5 秒以上押して、好きな放送局をプリセットします。㊴
- プリセットメモリーした放送局を呼び出します。(1.5 秒未満押す。)㊴
- エリア設定画面でエリアを決定すると、あらかじめメモリーされているそのエリアの放送局をこのボタンで呼び出すことができます。㊲

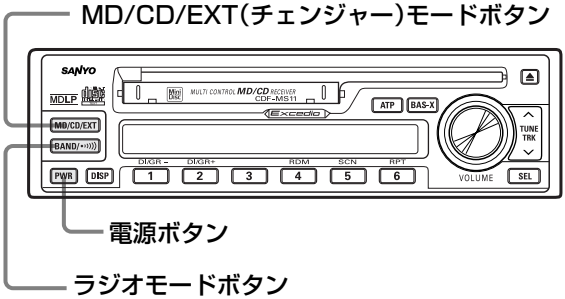
表示部のみかた

オーディオモード(VOL、BAS、TRE、BAL、FAD、TRK)表示、
バンド(FM1、FM2、AM1、AM2)表示、CD表示、MD表示、
チェンジャー番号(EXT1、EXT2)表示、時計、周波数、
プリセット番号、エリア設定画面、明るさ／タイトルスクロール／
操作音設定画面、放送局名、ディスク番号、グループ番号、トラック番号、演奏時間、ディスク名、
グループ名、トラック名など
※MD／CDの場合、トラック数が100を超えるとき、また、演奏時間が100分を超えるときは、
100の位は表示しません。



※表示部の明るさを調節することができます。 ☞21、22ページ
※車のACCをONすると、〔Morning〕(6：00～9：59)または〔Good day〕(10：00～17：59)または〔Hello!〕(18：00～5：59)を約2秒間表示します。

電源を入れる／切るには



電源を入れるには

電源ボタン(PWR)を押します。

この場合は、電源を切る前のモードになります。

また、ディスクを挿入すると、自動的に電源が入り、演奏が始まります。

ちょっと一言

- 次のような場合は、電源を入れると、

エリア設定画面(例)

1トウキョウケ

エリア設定画面が表示されます。

- 取付け後、初めてご使用の場合
- 電源ボタンを3秒以上押した場合 エリア選局(37ページ)

※エリア選局しない場合は、電源ボタン(PWR)を押して、いったん電源を切った後、再度、電源ボタンを押して(3秒未満)電源を入れてください。

●聞きたいモードのボタンを押しても、電源が入ります。

CDモード　：CDモードボタン(MD/CD/EXT)を押します。 27ページ
(CDが挿入されている場合)
※EXT(チェンジャー)モードになった場合は、もう一度、このボタンを押してください。

MDモード　：MDモードボタン(MD/CD/EXT)を押します。 31ページ
(MDが挿入されている場合)
※EXT(チェンジャー)モードになった場合は、もう一度、このボタンを押してください。

ラジオモード　：ラジオモードボタン(BAND/)を押します。 36ページ

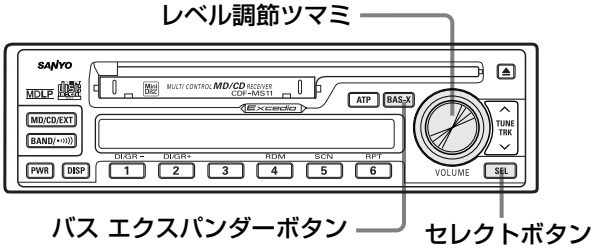
EXTモード　：EXT（チェンジャー）モードボタン(MD/CD/EXT)を押します。 42ページ
(別売のCDチェンジャーを接続した場合)
※CDモード/MDモードになった場合は、もう一度、このボタンを押してください。

電源を切るには

電源ボタン(PWR)を押します。

〔Good bye〕を約1秒間表示し、時計表示になります。

オーディオ調節をするには



VOL(音量)調節するには

レベル調節ツマミ(VOLUME)で調節します。

※右へ回すと音量大、左へ回すと音量小となります。

低音域を強調するには(BAS-X)

バス エクスパンダーボタン(BAS-X)を押します。

〔BASS X〕が点灯し、低音域を強調します。

ボタンを押すごとに、次のようにバスエクスパンダーモードが切り換わります。

BS-X Mid → BS-X Hi → BS-X OFF →

BAS（バス）／TRE（トレブル）／BAL（バランス）／FAD（フェダー）調節するには

①セレクトボタン（SEL）で調節したいモードを選びます。

※押すごとに下の表のようにモードが切り換わります。

②レベル調節ツマミ（VOLUME）で調節します。

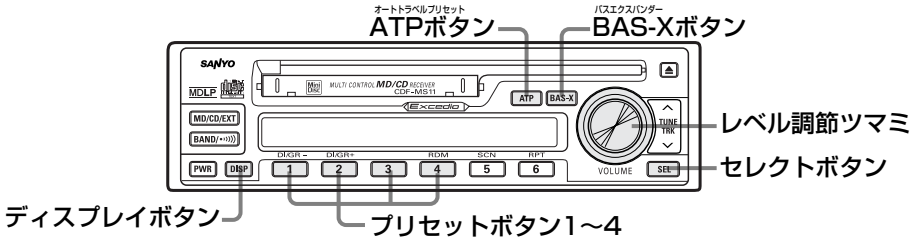
※各モード（BAS／TRE／BAL／FAD）が表示されている間（約5秒）に行なってください。モード表示が消えてからレベル調節ツマミを回すと、VOL（ボリューム）調節になります。

※右へ回すと＋方向（UP）、左へ回すと－方向（DOWN）となります。

モード切り換え	左側へ回すと（DOWN）	右側へ回すと（UP）	表示
↓ BAS（バス）	低音が弱まる	低音が強まる	−7 ～ +7
↓ TRE（トレブル）	高音が弱まる	高音が強まる	−7 ～ +7
↓ BAL（バランス）	右スピーカーの音量が下がる	左スピーカーの音量が下がる	L9~0~R9
↓ FAD（フェダー）	前スピーカーの音量が下がる	後ろスピーカーの音量が下がる	R9~0~F9
↓ VOL（ボリューム）	音量が下がる	音量が上がる	0 ～ 31
CD／MD時			
↓ TRK（トラック）	演奏トラックが戻る	演奏トラックが進む	1～MAX
↓ BAS（バス）	低音が弱まる	低音が強まる	−7 ～ +7
↓ TRE（トレブル）	高音が弱まる	高音が強まる	−7 ～ +7
↓ BAL（バランス）	右スピーカーの音量が下がる	左スピーカーの音量が下がる	L9~0~R9
↓ FAD（フェダー）	前スピーカーの音量が下がる	後ろスピーカーの音量が下がる	R9~0~F9
↓ VOL（ボリューム）	音量が下がる	音量が上がる	0 ～ 31

いろいろな設定をするには

表示部の明るさの調節、タイトルの自動スクロールの選択、ボタン操作音の有無の選択ができます。



1 セレクトボタン(SEL)を〔セッテイ〕が表示(点滅)されるまで(4秒以上)、押します。

2 表示部の明るさを変えるには

① プリセットボタン3(3)を押します。〔LCD〕と現在の明るさレベル(0～10)を表示します。

ILM ON(ライト点灯)時とILM OFF(ライト消灯)時で、それぞれレベルを設定できます。レベルの変更は、それぞれの状態の時(ライト点灯／消灯)に行なってください。

※工場出荷時は、ILM ON(ライト点灯)時は〔LCD 6〕、ILM OFF(ライト消灯)時は〔LCD 6〕に設定されています。

② レベル調節ツマミ(VOLUME)で、表示が見やすくなるように、調節します。

明るくする場合は右側へ回して、レベルを上げて(数字を大きくして)ください。
暗くする場合は左側へ回して、レベルを下げて(数字を小さくして)ください。

イルミネーションの減光の有無を選択するには

〔ILM Y〕を選んでおくと、あらかじめ設定されている時間内＊は、イルミネーションが自動的に減光されます。

＊減光開始時間(ILM ON時間)と減光終了時間(ILM OFF時間)を設定しておいてください。

① プリセットボタン4(RDM 4)を押します。〔ILM Y〕または〔ILM N〕が表示されます。

② レベル調節ツマミ(VOLUME)を回して設定が変更できます。

ツマミを回すごとに ILM Y⟷ILM N が切り換わります

イルミネーションの減光有の場合は、〔ILM Y〕を表示させます。
イルミネーションの減光無の場合は、〔ILM N〕を表示させます。

③ **イルミネーションの減光の有無が決まったらセレクトボタン(SEL)を押して決定します。**

減光時間の設定をするには（上記手順②のあとに設定します。）

“ILM Y” 表示中にATP（オートトラベルプリセット）ボタン(ATP)を押すとILM ON時間が表示されます。

また、“ILM Y” 表示中にBAS-X（バスエクスバンダー）ボタン(BAS-X)を押すとILM OFF時間が表示されます。

「時」合わせ……アップ ダウンボタン(∧)を押す。押しつづけると早く変わります。

「分」合わせ……アップ ダウンボタン(∨)を押す。押しつづけると早く変わります。

※工場出荷時は、“ILM Y”の時18：00～6：00に設定されています。

※橙／白線入り(ILM)コードをイルミネーション回路に接続した車は、車のライトを点灯すると、減光時間の設定に関係なく減光されます。

時間が決まったらセレクトボタン(SEL)を押して決定します。

タイトルを自動的にスクロールさせるには

〔SCROLL Y〕に設定しておくと、ディスク名、グループ名、トラック名、放送局名などが長すぎて一度に表示できない場合、自動的に表示がスクロールし続けます。

① **プリセットボタン2（DIGR+ 2）を押します。〔SCROLL Y〕または〔SCROLL N〕が表示されます。**

※工場出荷時は、〔SCROLL N〕に設定されています。

この設定の場合は、ディスク名、グループ名、トラック名、放送局名などが長すぎて一度に表示できない場合、ディスプレイボタン(DISP)を1.5秒以上押すと、表示が1回スクロールします。

② **手順①で〔SCROLL N〕が表示された場合は、レベル調節ツマミ(VOLUME)を回して、〔SCROLL Y〕を表示させます。**

③ **1回スクロールか再度押されるまでスクロールを続けるか動作が決まったら、セレクトボタン(SEL)を押して決定します。**

ボタン操作音の有無を選択するには

① **プリセットボタン1（DIGR- 1）を押します。〔BEEP Y〕または〔BEEP N〕が表示されます。**

※工場出荷時は、〔BEEP Y〕に設定されています。

② **レベル調節ツマミ(VOLUME)を回して選びます。**

ツマミを回すごとに BEEP Y←→BEEP N **が切り換わります。**

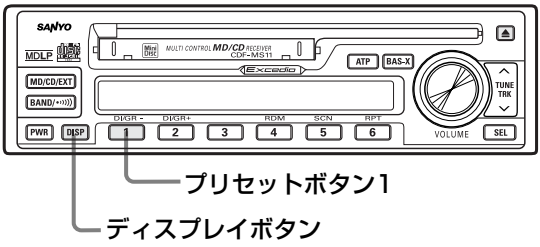
ボタン操作音有の場合は、〔BEEP Y〕を表示させます。

ボタン操作音無の場合は、〔BEEP N〕を表示させます。

③ **操作音の有無が決まったら、セレクトボタン(SEL)を押して決定します。**

優先表示を切り換えるには

各モード(ラジオ、CD、MD、EXT)ごとに、優先表示を選ぶことができます。



工場出荷時は、ラジオモードは時計表示優先(ラジオを聞いているときも時計表示する)、CDモード／MDモード／EXTモードはモード表示優先(CD／MD／チェンジャーに接続している機器を聞いているときは各々のモードの表示をする)に設定されています。

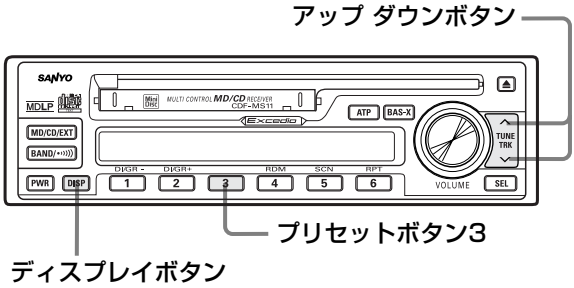
1 優先表示を切り換えたいモード(ラジオ／CD／MD／EXT)にします。

2 ディスプレイボタン(DISP)を押したまま、プリセットボタン1(DI/GR - 1)を押すと、時計表示優先(ラジオ／CD／MD／チェンジャーを聞いているときにモードと時計を表示をする。)←→モード表示優先(ラジオ／CD／MD／チェンジャーを聞いているときは、各々のモードの表示をする。)を切り換えます。

※時計表示優先のときに、ディスプレイボタン(DISP)を押すと、約5秒間、現在のモードの表示をします。また、モード表示優先のときに、ディスプレイボタン(DISP)を押すと、約5秒間、時計表示をします。

時刻合わせのしかた

ご使用になる前に、時刻を合わせてください。



1 表示部が時計表示であることを確認します。

時計表示でない場合は、ディスプレイボタン（DISP）を押すと、約5秒間、時計表示になります。（モード表示状態では操作できません。）

2 ディスプレイボタン（DISP）を押したまま（時計表示状態）で、アップダウンボタン（∧または∨）を押します。

「時」合わせ……アップ側（∧）へ押す。押しつづけると早く変わります。
「分」合わせ……ダウン側（∨）へ押す。押しつづけると早く変わります。

「時報」合わせをするには

ディスプレイボタン（DISP）を押したまま（時計表示状態）で、時報と共にプリセットボタン3（3）を押します。

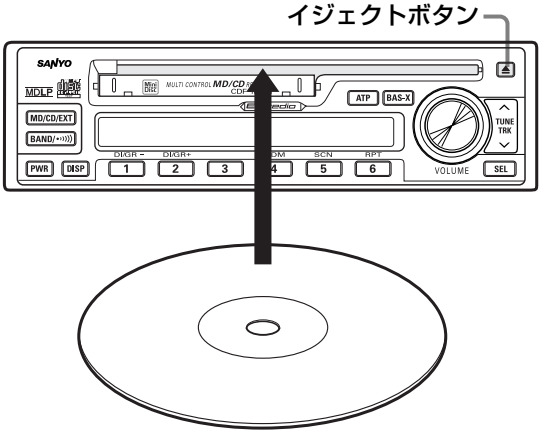
“分”表示が30分以内のときには00分にもどります。“分”表示が31分以上のときは、“時”表示が1時間くり上がり、00分を表示します。

例　10：00～10：30→10：00
　　10：31～11：00→11：00

ちょっと一言

本機の時計は24時間表示です。

CDを聞くには(1)



ディスクを挿入するには

1 印刷面を上にして、CDを挿入します。

自動的にCDの演奏を始めます。表示部の〔CD〕が〔CD〕に変わります。

ちょっと一言

- ディスクの印刷面を下にして入れると〔DISC ERR〕が表示されます。
  必ず、印刷面を上にして挿入してください。
- すでにディスクが入っているときは、そのディスクを取り出してから、次のディスクを入れてください。**CDとMDは同時には入りません。**
- 8cm CDも、12cm CDと同様に、そのまま挿入してください。
  8cm CDアダプターを使用すると、故障の原因となります。
- CD−R／RWはディスクの特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。
- CD−ROMは再生できません。

■コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）について

- ディスクレーベル面(印刷面)に〔CDロゴ〕 COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。
- パソコン等で複製防止を目的としたコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD）を再生させると、正常に再生できないことがあります。これは、コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)がCD規格に合致していないための現象であり、本機の異常ではありません。コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の再生で問題がある場合は、コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の発売元にお問い合わせください。

音量／音質を調節するには

2 「オーディオ調節をするには」(19ページ)にしたがって、音量、音質を調節します。

最後の曲の演奏が終わると

最後の曲の演奏が終わると、最初の曲の頭から演奏が再開します。

ディスクを取り出すには

イジェクトボタン(⏏)を押します。(イジェクトすると電源OFFとなります。)

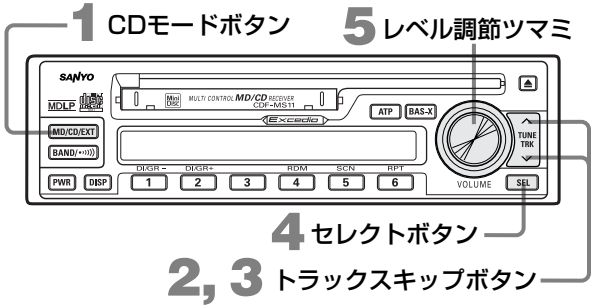
ちょっと一言

CDを取り出して再度演奏を始めるときは、ディスクの最初の曲の頭から演奏が始まります。

※演奏中にACCをOFFにした場合は、次にACCをONにすると、前に演奏していたつづきから演奏を始めます。

※イジェクトボタンを押した後、ディスクをそのままにしておくと、ディスク保護の為約10秒後に自動的にディスクが入り本機にセットされます。(〔DISC〕が点灯します。)尚、この時は自動的に演奏は開始されません。

CDを聞くには(2)



上の番号と次の説明を参照して操作してください。

CDモードにするには

1 CDモードボタン(MD/CD/EXT)を押します。

電源OFF状態やラジオモード、EXT(チェンジャー)モードから、ワンタッチでCDモードに切り換えます。(本機にCDが挿入してある場合)

※電源OFF状態、ラジオモードから切り換えたとき、EXT(チェンジャー)モードになった場合は、もう一度、このボタンを押してください。

好きな曲を選ぶには

トラック スキップボタン(∧ または ∨)で聞きたい曲のトラックの番号を表示させます。

次のトラックに進むには∧側(∧)を押します。

前のトラックに戻るには∨側(∨)を2回押します。

※∨側(∨)を1回押すと今聞いている曲の頭に戻ります。

ダイレクトに選ぶには

セレクトボタン(SEL)を押して、〔TRK〕表示中にレベル調節ツマミ(VOLUME)を回して希望のトラックNo.にすると、そのトラックの再生を開始します。

曲途中の好きなところを探すには

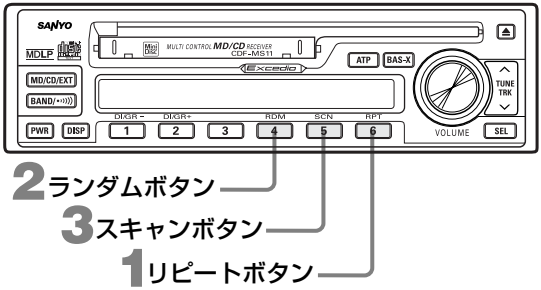
トラック スキップボタン(⏮ または ⏭)を押し続けると、早送りまたは早戻しで演奏中の曲の好きなところが探せます。

早送りで進むには ∧ 側(⏭)を押し続けます。早戻しで戻るには ∨ 側(⏮)を押し続けます。

それぞれのボタンから手を離したところで、演奏を始めます。

トラック スキップボタンを押し続け、ディスクの始めまたは終わりにくるとポーズ状態になります。

いろいろな演奏をするには



リピート（繰り返し）演奏するには 1

リピートボタン（RPT 6）を押すと〔RPT〕が点灯し、今聞いている曲を繰り返し演奏します。

もう一度リピートボタンを押すと解除されます。

※ディスクをイジェクトした時も、解除となります。

ランダム（順序不同）演奏するには 2

ランダムボタン（RDM 4）を押すと〔RDM〕が点灯し、ディスク内の曲を順序不同で演奏します。全曲演奏し終わると、再度そのディスクを順序不同で演奏する動作を繰り返します。

もう一度ランダムボタンを押すと解除されます。

※ディスクをイジェクトした時も、解除となります。

スキャン（イントロ）演奏するには 3

スキャンボタン（SCN 5）を押すと〔SCN〕が点灯し、曲の頭（イントロ）を約10秒間演奏して次の曲へ移る動作を繰り返します。

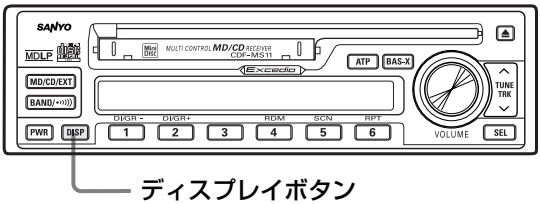
気にいった曲があればもう一度スキャンボタンを押して解除します。

解除した曲より通常演奏に戻ります。

※次の場合も、解除となります。　●他のモード（ラジオ／EXT）に切り換えた。

- ACCをOFFした。
- 電源を切った。
- ディスクをイジェクトした。
- トラックスキップボタンを操作した。

表示を切り換えるには



演奏時間／ディスク名／トラック名／時計を表示させるには

1 ディスプレイボタン(DISP)を押します。

押すごとに次のように表示が換わります。

演奏時間 → D. TITLE (ディスク名) → T. TITLE (トラック名) → 時計表示 → 演奏時間

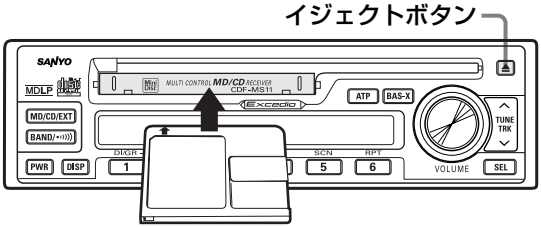
ディスプレイボタン(DISP)を押してから約5秒以内に、連続してこのボタンを押さない場合は、時計表示優先の場合は時計表示、モード表示優先の場合はモード表示となります。

※ディスク名、トラック名が長すぎて一度に表示できない場合は、ディスプレイボタン(DISP)を1.5秒以上押してください。表示がスクロールします。(一巡して止まります。ただし、NO TTL表示の場合は動作しません。)
自動的に表示がスクロールする設定にすることもできます。☞22ページ

ちょっと一言

ディスク名、トラック名が記録されていないディスクの場合はそれぞれ〔D:NO TTL〕、〔T:NO TTL〕と表示されます。

MDを聞くには(1)



ディスクを挿入するには

1 ⬆のついた面を上にして、⬆の方向にディスクを挿入します。

自動的にMDの演奏を始めます。表示部の〔MD〕が〔MD〕に変わります。

ちょっと一言

- すでにディスクが入っているときは、そのディスクを取り出してから、次のディスクを入れてください。CDとMDは同時には入りません。
- MDの録音が長時間(通常→LP2→LP4)になるにしたがって、MDを再生した場合、音質に差が出ます。最良の音質でお聞きになりたい場合は、通常モードで録音されたMDで再生してください。

音量／音質を調節するには

2 「オーディオ調節をするには」(19ページ)にしたがって、音量、音質を調節します。

3 最後の曲の演奏が終わると

最後の曲の演奏が終わると、最初の曲の頭から演奏が再開します。

ディスクを取り出すには

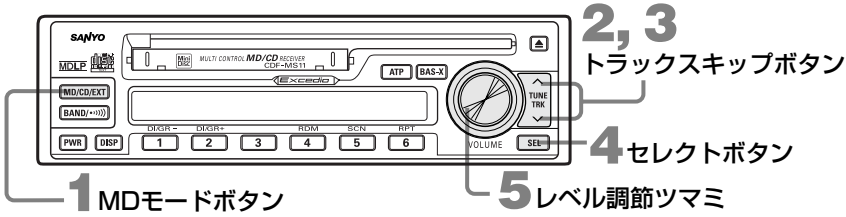
イジェクトボタン(⏏)を押します。(イジェクトすると電源OFFとなります。)

ちょっと一言

MDを取り出して再度演奏を始めるときにはディスクの最初の曲の頭から演奏が始まります。

※演奏中にACCをOFFにした場合は、次にACCをONにすると、前に演奏していたつづきから演奏を始めます。

※イジェクトボタンを押した後、ディスクをそのままにしておくと、ディスク保護の為約10秒後に自動的にディスクが入り本機にセットされます。(〔DISC〕が点灯します。)尚、この時は自動的に演奏は開始されません。



上の番号と次の説明を参照して操作してください。

MDモードにするには 1

MDモードボタン(MD/CD/EXT)を押します。

電源OFF状態やラジオモード、EXT(チェンジャー)モードから、ワンタッチでMDモードに切り換えます。(本機にMDが挿入してある場合)

※電源OFF状態、ラジオモードから切り換えたとき、EXT(チェンジャー)モードになった場合は、もう一度、このボタンを押してください。

好きな曲を選ぶには

トラック スキップボタン(∧ または ∨)で聞きたい曲のトラックの番号を表示させます。

次のトラックに進むには∧側(∧)を押します。

前のトラックに戻るには∨側(∨)を2回押します。

※∨側(∨)を1回押すと今聞いている曲の頭に戻ります。

※トラック数が100を超える場合、100の位は表示しません。

ダイレクトに選ぶには

トラック数が多い時に便利です。

セレクトボタン(SEL)を押して、〔TRK〕表示中にレベル調節ツマミ(VOLUME)を右へ回すとトラックを進めます。左へ回すとトラックを戻します。

多くのトラックを飛ばし、聞きたい曲を簡単操作で演奏できます。

曲途中の好きなところを探すには

トラック スキップボタン(∧ または ∨)を押し続けると、早送りまたは早戻しで演奏中の曲の好きなところが探せます。

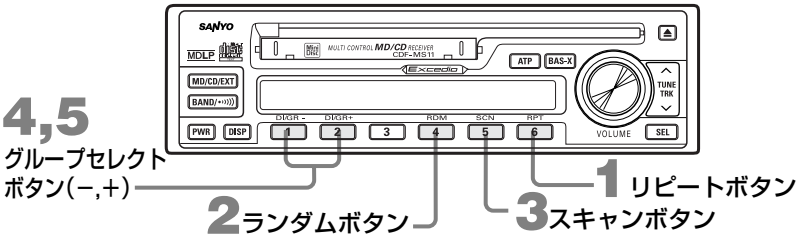
早送りで進むには∧側(∧)を押し続けます。

早戻しで戻るには∨側(∨)を押し続けます。

それぞれのボタンから手を離したところで、演奏を始めます。

トラック スキップボタンを押し続け、ディスクの始めまたは終わりにくるとポーズ状態になります。

いろいろな演奏をするには



上の番号と次の説明を参照して操作してください。

リピート(繰り返し)演奏するには 1

リピートボタン(RPT 6)を押すと〔RPT〕が点灯し、今聞いている曲を繰り返し演奏します。
もう一度リピートボタンを押すと解除されます。
※ディスクをイジェクトした時も、解除となります。

ランダム(順序不同)演奏するには 2

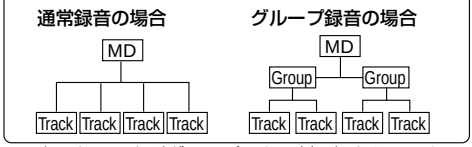
ランダムボタン(RDM 4)を押すと〔RDM〕が点灯し、ディスク内の曲を順序不同で演奏します。全曲演奏し終わると、再度そのディスクを順序不同で演奏する動作を繰り返します。
もう一度ランダムボタンを押すと解除されます。
※ディスクをイジェクトした時も、解除となります。

スキャン(イントロ)演奏するには 3

スキャンボタン(SCN 5)を押すと〔SCN〕が点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒間演奏して次の曲へ移る動作を繰り返します。
気にいった曲があればもう一度スキャンボタンを押して解除します。
解除した曲より通常演奏に戻ります。
※次の場合も、解除となります。 ●他のモード(ラジオ／EXT)に切り換えた。
●ACCをOFFした。 ●電源を切った。 ●ディスクをイジェクトした。
●トラックスキップボタンを操作した。

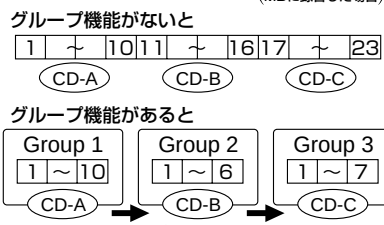
グループ機能(演奏)について

グループ機器録音の概念



MD内のトラックがグループごとに割り振られることにより長いディスクを区切って管理できるためグループごとのスキップやトラック数が多い時などに便利です。

グループ機器録音例 (3枚のCDを1枚MDに録音した場合)



グループごとにスキップできます。

グループ機能操作についてはグループ登録されたディスクの場合に限り［GROUP］が点灯し、操作可能となります。

本機のグループ機能はMD規格の推奨方法にもとづいています。グループ機能未搭載機器でグループやトラック編集されたディスクはグループ機能が正常に動作しない場合があります。

好きなグループを選ぶには

グループセレクトボタン（ DIGR- 1 または DIGR+ 2 ）で聞きたいグループの番号を表示させます。
次のグループに進むには DIGR+ 2 を押します。前のグループに戻るには DIGR- 1 を押します。

グループ リピート（グループを繰り返し）演奏するには 1

リピートボタン(RPT 6)を1.5秒以上押すと〔RPT〕が点滅し、今聞いているグループ内の曲のみ繰り返し演奏します。もう一度リピートボタンを押すと解除されます。
※ディスクをイジェクトした時も、解除となります。

グループ ランダム（グループの順序不同）演奏するには 2

ランダムボタン(RDM 4)を1.5秒以上押すと〔RDM〕が点滅し、グループ内の中から演奏順を順序不同に並べ変え、グループ内の全ての曲を順序不同で演奏します。
全曲演奏し終わると、再度そのグループを順序不同で演奏します。
もう一度ランダムボタンを押すと解除されます。
※ディスクをイジェクトした時も、解除となります。

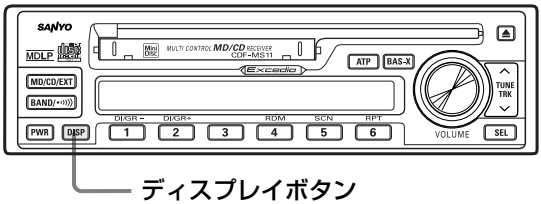
グループ スキャン（グループのイントロ）演奏するには 3

スキャンボタン(SCN 5)を1.5秒以上押すと〔SCN〕が点滅し、グループの最初の曲の頭(イントロ)を約10秒間演奏して次のグループへ移る動作を繰り返します。気にいったグループがあればもう一度スキャンボタンを押して解除します。解除したグループより通常演奏に戻ります。　※下記の場合も、解除となります。

- 他のモード（ラジオ／EXT）に切り換えた。
- ディスクをイジェクトした。
- トラックスキップボタンを操作した。
- ACCをOFFした。
- 電源を切った。

好きな曲を選んだり、早送り／早戻しは32ページを参照してください。

表示を切り換えるには



演奏時間／ディスク名／グループ名／トラック名／時計を表示させるには

1 ディスプレイボタン(DISP)を押します。

押すごとに次のように表示が換わります。

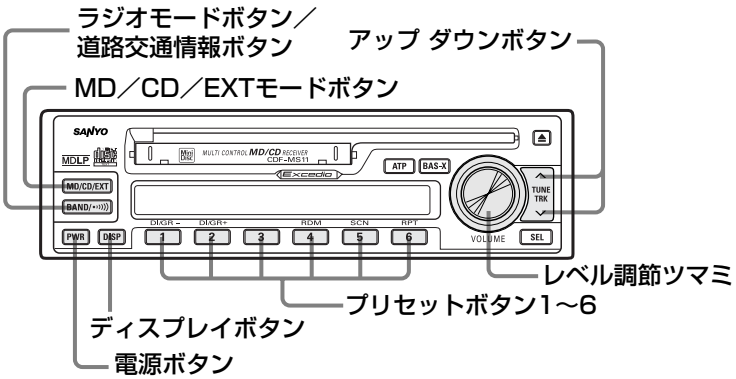
演奏時間 → D. TITLE (ディスク名) → G. TITLE (グループ名) → T. TITLE (トラック名) → 時計表示 →（演奏時間へ戻る）

※ディスク名、グループ名、トラック名が長すぎて一度に表示できない場合は、ディスプレイボタン(DISP)を1.5秒以上押してください。表示がスクロールします。（一巡して止まります。ただし、NO TTL表示の場合は動作しません。）
自動的に表示がスクロールする設定にすることもできます。☞22ページ

ちょっと一言

- ディスク名、グループ名、トラック名が記録されていないディスクの場合はそれぞれ〔D:NO TTL〕、〔G:NO TTL〕、〔T:NO TTL〕と表示されます。
- 演奏時間が100分を越える場合、100の位は表示しません。

ラジオ放送を聞くには(1)



ラジオ放送を聞くには

1 ラジオモードボタン(BAND/)を押します。

「オーディオ調節をするには」(19ページ)にしたがって、音量、音質を調節します。
表示部の〔AM〕か〔FM〕が点灯します。

ちょっと一言

エリア設定画面(例)

1トウキョウケ

取り付け後、初めてご使用の場合はエリア設定画面が表示されます。エリア選局をする場合は①の エリア選局 (37ページ)をご覧ください。

エリア選局しない場合は、レベル調節ツマミ(VOLUME)で〔0 OFF〕(エリアなし)に設定するか、電源ボタン(PWR)を押していったん電源を切るかまたは、MD／CD／EXT(チェンジャー)モードボタン(MD/CD/EXT)を押していったん他のモードにした後、もう一度ラジオモードボタン(BAND/)を押して、ラジオモード画面にしてください。

バンドを選ぶには

2 ラジオモードボタン(BAND/)を押して希望するバンドを選びます。

ボタンを押すと → FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → と換わります。
FMステレオ放送を受信すると表示部に〔ST〕が点灯します。

ラジオ放送を聞くには(2)

選局(エリア選局／手動選局／自動選局)するには (①／②／③と3方法があります)

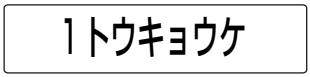
① **エリア選局**…全国42地域(エリア)の放送局があらかじめ本機にメモリーされています。エリアを選ぶと、そのエリアの放送局をプリセットメモリーボタンで呼び出すことができます。

※メモリーされている放送局については56～58ページをご覧ください。また、本機にメモリーされていない放送局を受信するときは手動選局／自動選局(39ページ)をしてください。

1 電源ボタン(PWR)を押して、電源を切ります。

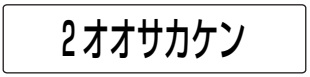
2 電源ボタン(PWR)を3秒以上押してエリア設定画面にします。

エリア設定画面(例)



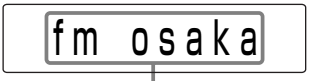
3 レベル調節ツマミ(VOLUME)で現在地のエリアを表示させます。

大阪圏を選ぶ場合



4 ラジオモードボタン(BAND/)を押します。プリセットチャンネル(1～6)に放送局がメモリーされます。

※地域によってメモリーされる放送局の数が異なりますので、全てのチャンネルにメモリーされるとは限りません。



放送局名

※放送局名が長すぎて一度に表示できない場合は、ディスプレイボタン(DISP)を1.5秒以上押してください。放送局名がスクロールします。(一巡して止まります。)自動的に表示がスクロールする設定にすることもできます。 ☞22ページ

5 ラジオモードボタン(BAND/)でバンドを選び、プリセットボタン(DI/GR - 1 ～ RPT 6)で選局します。プリセットボタン(DI/GR - 1 ～ RPT 6)を押すたびに、チャンネルが変わります。

周波数表示にするには

エリア選局をすると、モード表示のときは放送局名が表示されます。周波数を表示するようにする場合は、ディスプレイボタン(DISP)を軽く(1.5秒未満)2回押してください。ボタンを押すたびに 放送局名 ←周波数 ↑ 時計 ↵ が切り換わります。

② **手動選局**…ボタンを押すたびにFM…0.1MHz / AM…9kHz ごとに変化します。

アップ ダウンボタン(TUNE TRK)で選局します。

③ **自動選局**…自動的に選局をはじめ、放送局を受信すると止まります。希望の放送局が見つかるまで繰り返してください。

アップ ダウンボタン(TUNE TRK)をアップ側(∧)またはダウン側(∨)へ0.7秒以上押し続けると、自動選局を始めます。

ちょっと一言

FMステレオ放送を受信すると〔ST〕が点灯します。

ラジオモードボタン(BAND/•))))について

電源OFF状態やCDモード、MDモード、EXT(チェンジャー)モードから、ラジオモードに切り換えます。

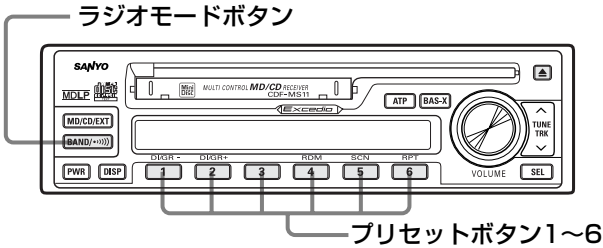
道路交通情報を聞くには　道路交通情報ボタン(BAND/•))))について

道路交通情報ボタン(BAND/•))))を1.5秒以上押すと、〔TI 1620〕が表示され、道路交通情報が聞けます。もう一度道路交通情報ボタン(BAND/•))))を押すと解除されます。ラジオモードボタン、CD／MD／EXT(チェンジャー)モードボタンを押すと、各々のモードに切り換わります。

ちょっと一言

CDモード／MDモード／EXT（チェンジャー）モードのときも、このボタンを1.5秒以上押すと、道路交通情報を聞くことができます。

放送局をメモリーするには(1)



放送局を手動でメモリーするには

プリセット選局

各バンド(FM1、FM2、AM1、AM2)にそれぞれ6局ずつプリセットメモリー(放送局を記憶)できます。

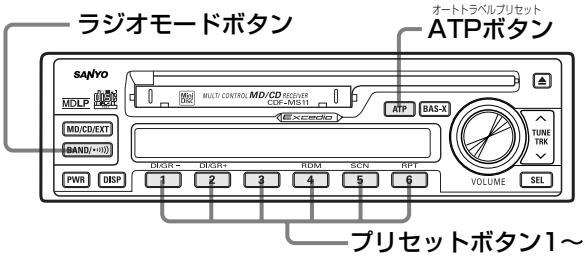
1 ラジオモードボタン(BAND/)を押して、希望するバンド(FM1、FM2、AM1、AM2)を選びます。36ページ

2 プリセットしたい局を選局します。
選局(エリア選局／手動選局／自動選局)するには 37、38ページ

3 プリセットボタン(DIGR - 1 ～ RPT 6)のうち、好みのボタンを1.5秒以上押します。

手動でメモリーした放送局を呼び出すには

ラジオモードボタン(BAND/)でバンドを合わせ、プリセットボタン(DIGR - 1 ～ RPT 6)を軽く押す（1.5秒未満）と呼び出しできます。



放送局を自動でメモリーするには

オートトラベルプリセット(ATP)選局

FM6局、AM6局を自動的にプリセット(放送局を記憶)できます。

1 ラジオモードボタン(BAND/)を押して、希望するバンドを選びます。

FM局の場合はFM1またはFM2、AM局の場合はAM1またはAM2を選びます。

2 オートトラベルプリセット ATPボタン(ATP)を1.5秒以上押します。

表示部の周波数表示が〔– – – – – –〕を表示するまで押してください。
〔ATP〕が点滅し、自動的に強い局を最大6局まで記憶します。

ちょっと一言

山間部などラジオの受信状態の悪い地域では、オートトラベルプリセットできないことがあります。この場合は〔NO STAT.〕と表示しますので、この時は前ページに従って1局ずつプリセットしてください。

自動でメモリーしたATP局を呼び出すには

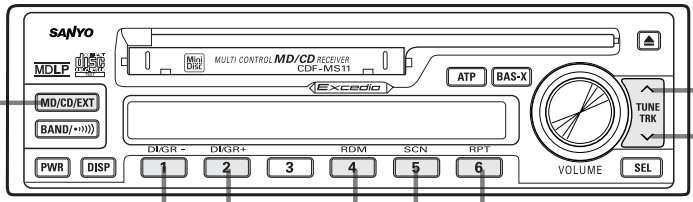
ラジオモードボタン(BAND/)でバンドを選びます。
FM局の場合はFM1またはFM2、AM局の場合はAM1またはAM2を選びます。
オートトラベルプリセット ATPボタン(ATP)を軽く(1.5秒未満)押すごとに記憶した順に呼び出します。

各部の名称とはたらき

別売のCDチェンジャー(CDF-C61J3)を本機で操作できます。

●は参照ページです。

EXTモードボタン(EXT)
電源OFF状態やラジオモード、MD/CDモードより、EXT(チェンジャー)モードに切り換えます。42
※電源OFF状態、ラジオモードから切り換えたとき、
MDまたはCDモードになった場合は、もう一度、
このボタンを押してください。



ディスク セレクトボタン(−、+)
チェンジャー内の好きなディスクを選びます。43

ランダムボタン(RDM)
曲またはディスクを順序不同で演奏します。44 45

スキャンボタン(SCN)
曲またはディスクの頭の部分を順次演奏します。44 45

リピートボタン(RPT)
曲またはディスクを繰り返し演奏します。44 45

トラック スキップボタン(へ,∨)
好きな曲を選びます。また、演奏中にこのボタンを押し続けると、早送り(へ)、または早戻し(∨)します。43

操作の前に

CDチェンジャー

1 CDチェンジャーの取扱説明書にしたがって、マガジンにディスクをセットし、マガジンをCDチェンジャーに入れてください。

2 EXT(チェンジャー)モードボタン(MD/CD/EXT)を押します。
最初のディスクの初めから演奏を始めます。
表示部の〔CD〕が点滅し、〔EXT〕が点灯します。

3 「オーディオ調節をするには」(19ページ)にしたがって、音量、音質を調節します。

4 43〜45ページにしたがって、操作してください。
ディスクの最後の曲の演奏が終わると、自動的に次のディスクの初めから演奏を始めます。マガジンの最後のディスクの最後の曲の演奏が終わると、自動的に最初のディスクの初めから演奏を始めます。

ちょっと一言

手順1で、すでにEXT(チェンジャー)モードになっている場合は、自動的に最初のディスクの初めから演奏を始めます。

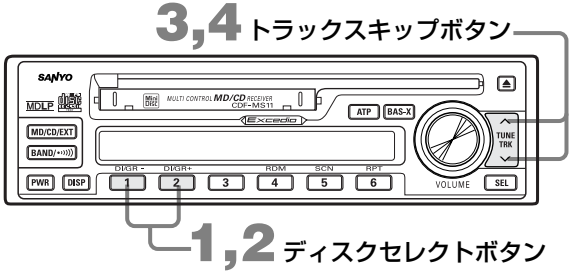
EXT(チェンジャー)モードボタン(MD/CD/EXT)について

電源OFF状態やラジオモード、CDモード、MDモードからEXT(チェンジャー)モードに切り換えます。

※電源OFF状態、ラジオモードから切り換えたとき、CD／MDモードになった場合は、もう一度、このボタンを押してください。

※CDチェンジャーを初めてお使いのときや、マガジンを交換したときは、最初のディスクの最初の曲から演奏を始めます。また、ディスクの最後の曲の演奏が終わると、自動的に次のディスクの初めから演奏を始めます。マガジンの最後のディスクの最後の曲が終わると、自動的に最初のディスクの初めから演奏を始めます。

演奏するには(1)



上の番号と次の説明を参照して操作してください。

好きなディスク、曲を選ぶには

聞きたいディスクを選ぶには

ディスク セレクトボタン(DI/GR - 1 ～ DI/GR+ 2)で聞きたいディスクの番号を表示させます。

次のディスクに進むには(DI/GR+ 2)を押します。

前のディスクに戻るには(DI/GR - 1)を押します。

好きな曲を選ぶには

トラック スキップボタン(∧ または ∨)で聞きたい曲のトラックの番号を表示させます。

次のトラックに進むには∧側(∧)を押します。

前のトラックに戻るには∨側(∨)を2回押します。

※∨側(∨)を1回押すと今聞いている曲の頭に戻ります。

曲途中の好きなところを探すには

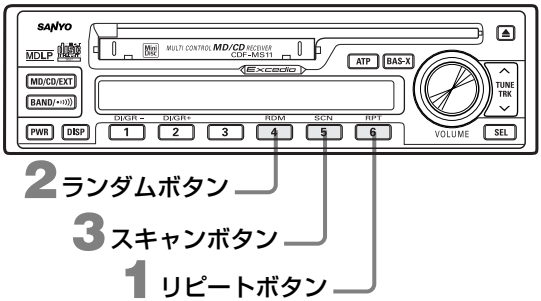
トラック スキップボタン(∧ または ∨)を押し続けると、早送りまたは早戻しで演奏中の曲の好きなところが探せます。

早送りで進むには∧側(∧)を押し続けます。

早戻しで戻るには∨側(∨)を押し続けます。

それぞれのボタンから手を離したところで、演奏を始めます。

トラック スキップボタンを押し続け、ディスクの始めまたは終わりにくるとポーズ状態になります。



上の番号と次の説明を参照して操作してください。

いろいろな演奏をするには

リピート(繰り返し)演奏するには 1

リピートボタン(RPT 6)を押すと〔RPT〕が点灯し、今聞いている曲を繰り返し演奏します。

もう一度リピートボタンを押すと解除されます。

※マガジンをイジェクトした時も、解除となります。

ランダム(順序不同)演奏するには 2

ランダムボタン(RDM 4)を押すと〔RDM〕が点灯し、今聞いているディスクの曲を順序不同で演奏します。全曲演奏し終わると、再度そのディスクを順序不同で演奏する動作を繰り返します。

もう一度ランダムボタンを押すと解除されます。

※マガジンをイジェクトした時も、解除となります。

スキャン(イントロ)演奏するには 3

スキャンボタン(SCN 5)を押すと〔SCN〕が点灯し、今聞いているディスクの曲の頭(イントロ)を約10秒間演奏して次の曲へ移る動作を繰り返します。

気にいった曲があればもう一度スキャンボタンを押して解除します。

解除した曲より通常演奏に戻ります。

※次の場合も、解除となります。 ●他のモード(ラジオ／MD／CD)に切り換えた。

- ACCをOFFした。
- 電源を切った。
- マガジンをイジェクトした。
- トラックスキップボタンを操作した。

演奏するには(2)

ディスク リピート(ディスクを繰り返し)演奏するには 1

リピートボタン(RPT 6)を1.5秒以上押すと〔RPT〕が点滅し、今聞いているディスクを繰り返し演奏します。

もう一度リピートボタンを押すと解除されます。

※マガジンをイジェクトした時も、解除となります。

ディスク ランダム(ディスクの順序不同)演奏するには 2

ランダムボタン(RDM 4)を1.5秒以上押すと〔RDM〕が点滅し、ディスクの演奏順を順序不同に並べ変え、ディスク内の全ての曲を順序不同で演奏して次のディスクに移る動作を繰り返します。

もう一度ランダムボタンを押すと解除されます。

※マガジンをイジェクトした時も、解除となります。

ディスク スキャン(ディスクのイントロ)演奏するには 3

スキャンボタン(SCN 5)を1.5秒以上押すと〔SCN〕が点滅し、ディスクの最初の曲の頭(イントロ)を約10秒間演奏して次のディスクへ移る動作を繰り返します。気にいったディスクがあればもう一度スキャンボタンを押して解除します。

解除したディスクより通常演奏に戻ります。

※下記の場合も、解除となります。

- ACCをOFFした。
- 電源を切った。
- マガジンをイジェクトした。
- 他のモード(ラジオ／MD／CD)に切り換えた。
- トラックスキップボタンを操作した。

メッセージ表示について

CDやMDの操作中に、次のようなメッセージ表示が出ることがあります。
下記に従って処置してください。

表　示	原　因	処　置
DISC ERR	(CD) ディスクが逆にセットされている。	ディスクを正しくセットしてください。
	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れを拭きとってください。
	(MD) ディスクに異常がある。	別のディスクを入れてみてください。表示が消えれば、まえのディスクに異常がある可能性があります。
NO DISC	(CD) (MD) ユニット／マガジンにディスクが入っていない。	ディスクを入れてください。
NO MAG	(CD) CDチェンジャーにマガジンが入っていない。	マガジンを入れてください。
BLK. DISC	(MD) 録音されていないディスクがセットされている。	録音されているディスクに交換してください。
NO CNECT	(CD) CDチェンジャーが接続されていない。	CDチェンジャーを接続してください。
NOT AUDI	(CD) (MD) 音楽用ディスク以外のディスクがセットされている。	正しいディスクをセットしてください。

取り付けの前に(1)

配線・取り付けの前に必ず、「安全上のご注意」(5〜9ページ)をお読みください。

「配線のしかた」(49、50ページ)と「取り付けかた」(51ページ)に従って、正しく配線・取付けを行なってください。

メモリーについて

ショート事故防止のため、配線作業中はバッテリーの⊖端子を外しますが、このとき、バッテリーからバックアップをとっている本機、その他の機器(カーステレオ、時計、ドライブコンピューター、ナビゲーションコンピューターなど)は、止まったり、メモリーが消えたりすることがあります。このような場合は、配線・取り付け終了後、もう一度設定してください。

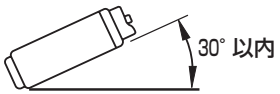
スピーカーコードの接続について

本機の故障・破損を防ぐため、次のことをお守りください。

- 接続するスピーカーのインピーダンスは必ず4Ω〜8Ωのものをお使いください。
- スピーカーの取り付けについてはスピーカーの説明書をごらんください。
- 本機のスピーカーコードを電源に接続することは絶対にお止めください。
- スピーカーコードの極性⊕ ⊖を間違えないように配線してください。

取り付け角度について

路面の凸凹によって生じる振動を防止するためなるべく水平になるよう取り付けてください。傾ける場合は角度が30°以内になるようにしてください。

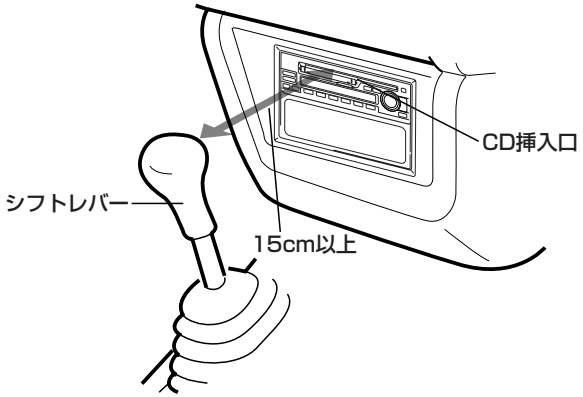


取り付け場所について

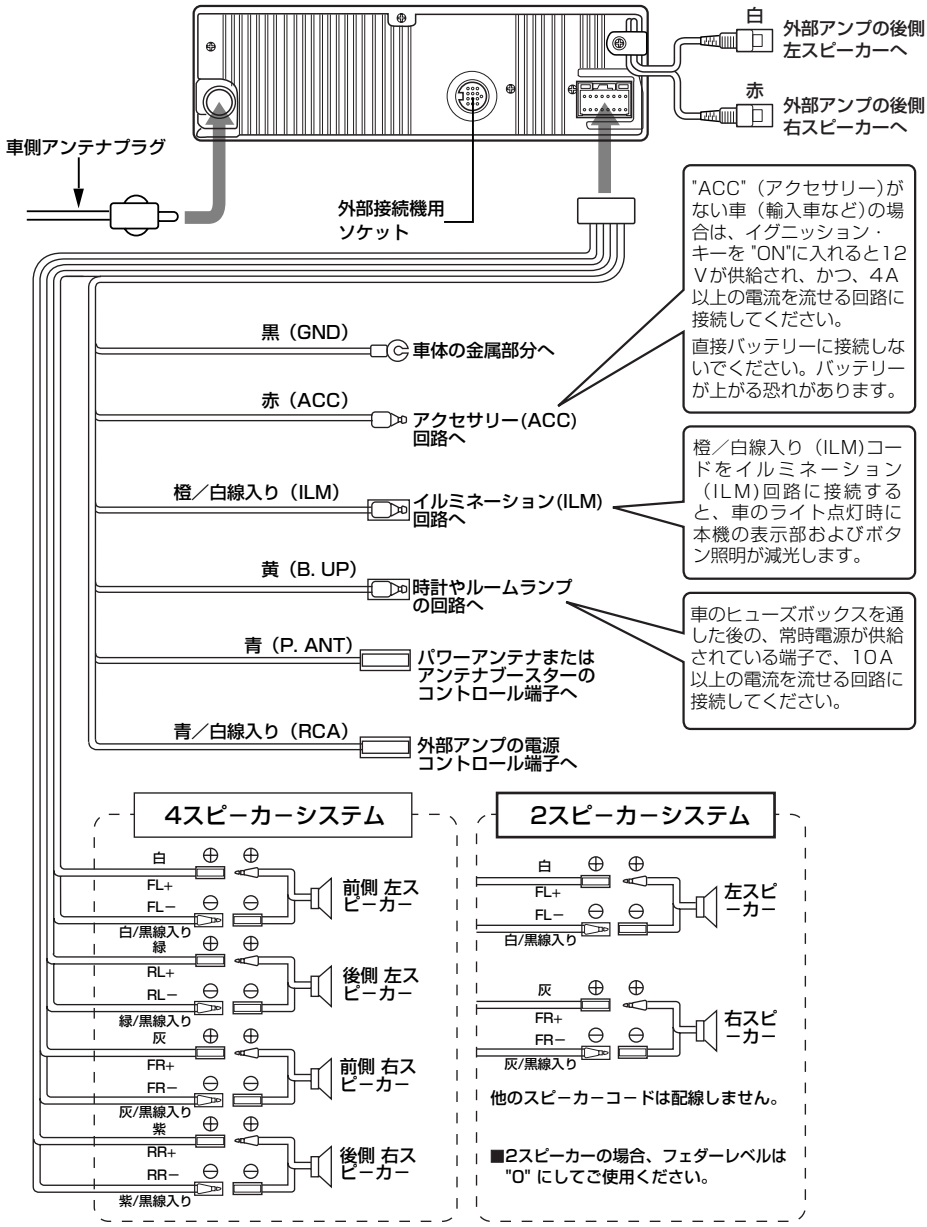
次のような場所はお避けください。

- 運転の妨げになる所
- 同乗者の安全を損なう所
- グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになる所
- ほこりの多い所
- 磁気を帯びた所
- 直射日光やヒーターの熱風などが当たる所
- 雨が吹きこんだり、水がかかる所、湿気の多い所

CDの出し入れをするためには、CDの挿入口から15cm以上の間隔が必要です。シフトレバーの位置によっては、CDの出し入れがしにくい場合がありますので、車のシフト操作の妨げにならないことを確認のうえ、取付場所を設定してください。



配線のしかた(1)

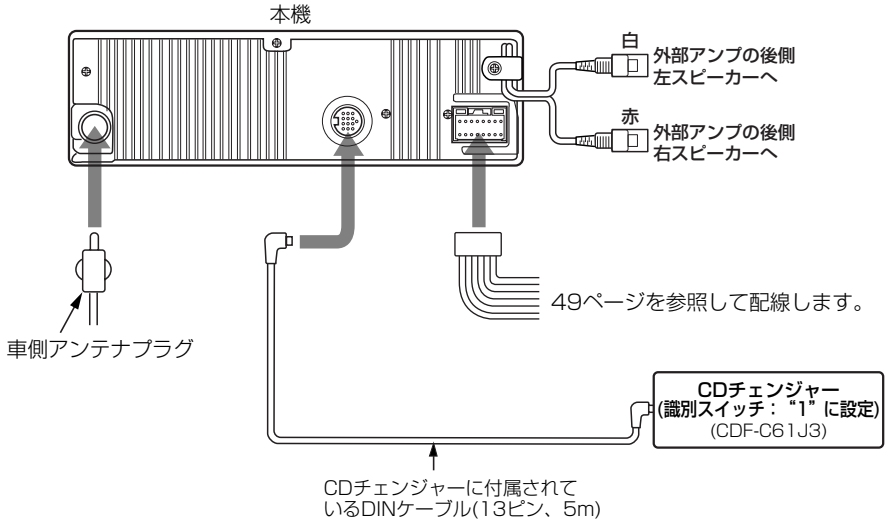

白
外部アンプの後側
左スピーカーへ
赤
外部アンプの後側
右スピーカーへ
車側アンテナプラグ
外部接続機用
ソケット
"ACC"（アクセサリー）がない車（輸入車など）の場合は、イグニッション・キーを "ON"に入れると12Vが供給され、かつ、4A以上の電流を流せる回路に接続してください。
直接バッテリーに接続しないでください。バッテリーが上がる恐れがあります。
黒（GND）
車体の金属部分へ
赤（ACC）
アクセサリー(ACC)
回路へ
橙／白線入り（ILM）
イルミネーション(ILM)
回路へ
橙／白線入り（ILM）コードをイルミネーション（ILM）回路に接続すると、車のライト点灯時に本機の表示部およびボタン照明が減光します。
黄（B. UP）
時計やルームランプ
の回路へ
青（P. ANT）
パワーアンテナまたは
アンテナブースターの
コントロール端子へ
車のヒューズボックスを通した後の、常時電源が供給されている端子で、10A以上の電流を流せる回路に接続してください。
青／白線入り（RCA）
外部アンプの電源
コントロール端子へ
4スピーカーシステム
白
FL+
FL−
白/黒線入り
前側 左スピーカー
緑
RL+
RL−
緑/黒線入り
後側 左スピーカー
灰
FR+
FR−
灰/黒線入り
前側 右スピーカー
紫
RR+
RR−
紫/黒線入り
後側 右スピーカー
2スピーカーシステム
白
FL+
FL−
白/黒線入り
左スピーカー
灰
FR+
FR−
灰/黒線入り
右スピーカー
他のスピーカーコードは配線しません。
■2スピーカーの場合、フェダーレベルは "0" にしてご使用ください。

ちょっと一言

- 赤(ACC)コードと黄(B.UP)コードの両方を接続しないと、本機が作動しません。
- 外部アンプのみをご使用の場合は、ボタン操作音がなりません。
- イルミネーション(ILM)回路がない場合は、橙／白線入り(ILM)コードは、使用しません。

CDチェンジャーを接続するとき

CDチェンジャーの説明書もあわせてご覧ください。

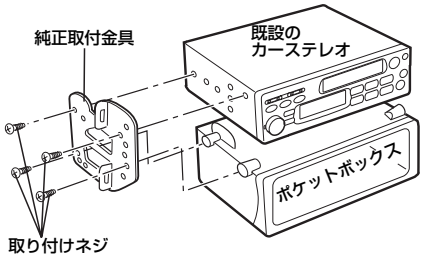


取り付けかた

取り付けは、車種や年式によって異なります。

取り付け、固定する前に仮配線を行ない、配線に誤りがなく本機が正常に動作することを確認してください。

2DINサイズ採用車に取り付ける場合の例

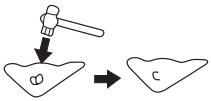


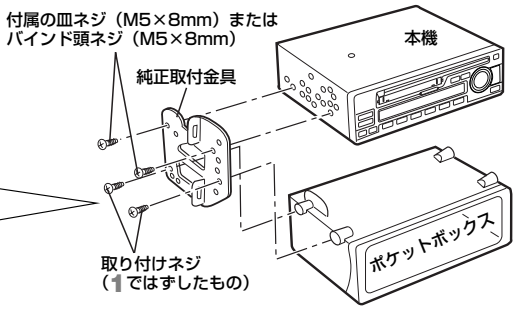
1 既設のカーステレオから純正取付金具を外します。（このとき、外したネジをなくさないようにご注意ください。）

2 付属の皿ネジ（M5×8mm）4個またはバインド頭ネジ（M5×8mm）4個を使って、本機に純正取付金具を固定します。

純正取付金具の形状は車種により異なりますので本機側面の取付穴は純正取付金具の合うところを使用してください。

車種によっては、純正取付金具の突起が当る部分があります。このときは、突起部をハンマーなどでたたいて、平らにしてから取り付けてください。





※上記の取付方法はトヨタ車の一例です。

その他

ちょっと一言

- 2DIN採用車とは、オーディオスペースに通称 セット幅180mm、高さ 100mmサイズが搭載できる車です。
- 本機背面の取付穴を使用する場合は、M5×8（MAX）のネジをご使用ください。

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスや配線間違いなどで故障と間違えることがあります。修理を依頼される前に下記のようなチェックをしてください。

症　状	原　因	処　置
電源が入らない	電源コードの接続が不完全。	電源コードの接続を確認してください。
音がでない。	スピーカーコードの接続が不完全。	スピーカーコードの接続を確認してください。
	VOL（音量）が小さい。	「オーディオ調節をするには」（19ページ）にしたがって、VOL（音量）を大きくしてください。
CDを入れても出てきてしまう。	CDがひどく汚れている。	CDのクリーニングをしてみてください。（11ページの「CDの取り扱いかた」をご参照ください。）
	周囲の温度が極端に高い。	車内の温度を下げてから使ってください。
	結露している。	しばらく放置してから使ってください。
振動によりCDの音がとぶ。	取り付け方が悪い。	しっかり固定してください。
	CDの不良。	他のCDを聞いてみてください。よくなればCDの不良の可能性があります。
	CDがよごれている。	CDのクリーニングをしてみてください。（11ページの「CDの取り扱いかた」をご参照ください。）
CDの音質が悪い。	CDの不良。	他のCDを聞いてみてください。よくなればCD不良の可能性があります。
	CDがよごれている。	CDのクリーニングをしてみてください。（11ページの「CDの取り扱いかた」をご参照ください。）
	結露している。	CDを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。
CDが入らない。	すでにCD又はMDが入っていて2枚目を入れようとしている。	入っているCD又はMDを取り出してから、次のCDを入れてください。

故障かな？と思ったら

症　状	原　因	処　置
MDが入らない。	すでにCD又はMDが入っていて2枚目を入れようとしている。	入っているCD又はMDを取り出してから、次のMDを入れてください。
	MDを入れる方向がちがう	⬆のついた面を上にして、⬆の方向に入れてください。
MDを入れても出てきてしまう。	周囲の温度が極端に高い。	車内の温度を下げてから使ってください。
	結露している。	しばらく放置してから使ってください。
MD再生音にノイズが発生したり、音飛びをする。	本機の取り付け角度30度をこえている。	30度以内の角度で取り付けてください。
	取り付け方が悪い。	本機をしっかりと固定してください。
ラジオが鳴らない。	アンテナの接続が不完全。	アンテナの接続を確認してください。
自動選局ができない。	電波が弱い。	手動選局してください。
ラジオの感度がわるい。	アンテナが伸び切っていない。	アンテナを全部伸ばしきってください。
フロントスピーカー、リアスピーカーのどちらかの音が出ない。	FAD（フェダー）のレベルが片方によっている。	「オーディオ調節をするには」（20ページ）にしたがって、FAD（フェダー）レベルを調節してください。2スピーカーの場合は、“0”に合わせます。

⚠警告 サービスマン以外の人は、絶対に本機を分解したり修理しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

愛情点検

★長年ご使用のカーオーディオの点検をぜひ！★

（熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより商品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。）

こんな症状はありませんか

●電源スイッチを入れても音や表示が出ない。●電源スイッチを切っても音が消えない。●変なにおいがしたり、煙がでたりする。●内部に水や異物が入った。●その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、使用を中止し、必ず販売店にご相談ください。

主な仕様

(CDプレーヤー部)

S／N	85dB
周波数特性	5～20,000Hz
高調波ひずみ率	0.05%(1kHz)

(MDプレーヤー部)

S／N	90dB
周波数特性	20～20,000Hz
ワウ・フラッター	測定限界以下

(チューナー部)

回路方式	AM/FM/MPX ラジオPLL方式
受信周波数	FM 76.0～90.0MHz AM 522～1629kHz
実用感度	FM 12dBf AM 28dB
S／N比	FM 60dB AM 50dB
ステレオセパレーション	FM 35dB
歪率	FM 0.3% AM 0.5%

(共通部)

電源電圧	DC12V(11V～16V) 性能測定標準入力：DC14.4V マイナス(－)アース
最大出力	45W×4
定格出力	25W×4 (5%歪、DC14.4V、 4Ω負荷)
最大消費電流	10A
音質調整	BASS :±10dB(100Hz) TREBLE:±10dB(10kHz)
外形寸法	178×100×165.5mm (幅×高さ×奥行き)
質量	1.4kg

※ 本機の仕様および外観は性能改善のため予告なしに変更することがあります。

(付属品)

皿ネジ	M5×8mm 4個
バインド頭ネジ	M5×8mm 4個

アフターサービスについて

1. **保証書**
   この商品には保証書がついています。
   保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。保証期間はお買上げ日より1年間です。
2. **修理を依頼されるとき**
   - 保証期間中は
     商品に保証書を添えてお買上げの販売店にご持参ください。
     保証書の記載内容により修理いたします。
   - 保証期間が過ぎているときは
     お買上げの販売店にご相談ください。
     修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
3. **補修用性能部品の保有期間**
   当社は、本機の機能を維持するために必要な補修性能部品を、製造打ち切り後8年間保有しています。
4. **ご使用中にふだんと変わった状態になりましたら**
   ただちに使用を中止しお買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
   - お客様ご自身での分解修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。
5. **アフターサービスについてご不明の場合**
   修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店にご依頼ください。
   ご転居やご贈答品等でお困りの場合は、お近くの別紙記載または下記の「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口

三洋電機サービス株式会社

相談受付時間
月曜日～土曜日（祝日および当社の休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：30

◆ 北海道地区　☎札　幌（011）831-9200
◆ 東北地区　☎仙　台（022）382-5616
◆ 関東地区　☎東　京（03）3372-5701
◆ 中部地区　☎名古屋（052）451-3335
◆ 近畿　四国地区　☎大　阪（06）6993-2251
◆ 中国地区　☎広　島（082）295-3799
◆ 九州地区　☎福　岡（092）922-6440
◆ 沖縄地区　沖縄三洋販売株式会社サービス部　☎那覇（098）944-5018

※お客様ご相談窓口の住所、電話番号は予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。
※お電話の際には電話番号をよくお確かめください。

エリア選局メモリー局一覧表(1)

エリア選局で呼び出しできる放送局の一覧表です。

エリア	ボタン	FM1	MHz	FM2	MHz	AM1	kHz	AM2	kHz
1 東京圏 (東京 横浜 千葉 さいたま)	1	FM TOKYO	80.0	NHK-FM横浜	81.9	NHK第一	594	NHK第二	693
	2	J-WAVE	81.3	FM横浜	84.7	ラジオ日本	1422	——	
	3	bay-fm 78	78.0	放送大学	77.1	AFN	810	——	
	4	FM-FUJI	78.6	インターFM	76.1	TBSラジオ	954	——	
	5	NACK5	79.5	——		文化放送	1134	——	
	6	NHK-FM東京	82.5	——		ニッポン放送	1242	——	
2 大阪圏 (大阪 神戸 京都)	1	fm osaka	85.1	NHK-FM神戸	86.5	ラジオ関西	558	NHK第二	828
	2	FM802	80.2	FM滋賀	77.0	NHK第一	666	——	
	3	NHK-FM京都	82.8	FM CO-CO-LO	76.5	ラジオ大阪	1314	——	
	4	NHK-FM大阪	88.1	——		ABCラジオ	1008	——	
	5	α-STATION	89.4	——		KBS京都	1143	——	
	6	Kiss-FM	89.9	——		毎日放送	1179	——	
22 大津	1	fm osaka	85.1	FM滋賀	77.0	ラジオ関西	558	NHK第二	828
	2	FM802	80.2	——		NHK第一	666	——	
	3	NHK-FM京都	82.8	——		ラジオ大阪	1314	——	
	4	NHK-FM大津	84.0	——		ABCラジオ	1008	——	
	5	NHK-FM大阪	88.1	——		KBS京都	1143	——	
	6	α-STATION	89.4	——		毎日放送	1179	——	
23 奈良	1	fm osaka	85.1	FM滋賀	77.0	ラジオ関西	558	NHK第二	828
	2	FM802	80.2	——		NHK第一	666	——	
	3	NHK-FM京都	82.8	——		ラジオ大阪	1314	——	
	4	NHK-FM奈良	87.4	——		ABCラジオ	1008	——	
	5	NHK-FM大阪	88.1	——		KBS京都	1143	——	
	6	α-STATION	89.4	——		毎日放送	1179	——	
39 熊本	1	FM中九州	77.4	NHK-FM佐賀	81.6	NHK第一	756	——	
	2	FM佐賀	77.9	——		NHK第二	873	——	
	3	FM福岡	80.7	——		NHK第一	963	——	
	4	CROSS FM	78.7	——		熊本放送	1197	——	
	5	NHK-FM熊本	85.4	——		RKB毎日放送	1278	——	
	6	NHK-FM福岡	84.8	——		九州朝日放送	1413	——	

エリア	ボタン	FM1	MHz	AM1	kHz
3 名古屋圏 (名古屋 岐阜)	1	FM-AICHI	80.7	NHK第一	729
	2	ZIP-FM	77.8	NHK第二	909
	3	FM三重	78.9	中部日本放送	1053
	4	NHK-FM津	81.8	東海ラジオ	1332
	5	NHK-FM名古屋	82.5	岐阜放送	1431
	6	NHK-FM岐阜	83.6	——	
		FM2	MHz		
	1	RADIO-i	79.5		
4 札幌	1	AIR-G	80.4	NHK第一	567
	2	FMノースウェーブ	82.5	NHK第二	747
	3	NHK-FM札幌	85.2	HBCラジオ	1287
	4	——		STVラジオ	1440
5 青森	1	FM青森	80.0	HBCラジオ	900
	2	NHK-FM青森	86.0	NHK第一	963
	3	——		青森放送	1233
	4	——		NHK第二	1521

エリア	ボタン	FM1	MHz	AM1	kHz
6 秋田	1	FM秋田	82.8	NHK第二	774
	2	NHK-FM秋田	86.7	秋田放送	936
	3	——		NHK第一	1503
7 盛岡	1	FM岩手	76.1	NHK第一	531
	2	NHK-FM盛岡	83.1	岩手放送	684
	3	——		NHK第二	1386
8 山形	1	FM山形	80.4	NHK第一	540
	2	NHK-FM山形	82.1	山形放送	918
	3	——		NHK第二	1521
9 仙台	1	FM仙台	77.1	NHK第一	891
	2	NHK-FM仙台	82.5	NHK第二	1089
	3	——		東北放送	1260

エリア選局メモリー局一覧表(2)

エリア	ボタン	FM1	MHz	AM1	kHz
10 福島	1	ふくしまFM	81.8	NHK第一	846
	2	NHK-FM福島	85.3	ラジオ福島	1098
	3	——		NHK第一	1323
	4	——		ラジオ福島	1458
	5	——		NHK第二	1512
	6	——		NHK第二	1602
11 宇都宮	1	レディオ・ベリー	76.4	NHK第一	594
	2	FMぐんま	86.3	栃木放送	1530
	3	放送大学	78.8	TBSラジオ	954
	4	NHK-FM宇都宮	80.3	文化放送	1134
	5	NHK-FM水戸	83.2	茨城放送	1197
	6	——		ニッポン放送	1242
				AM2	kHz
	1			NHK第二	693
12 水戸	1	FMぐんま	86.3	NHK第一	594
	2	放送大学	78.8	NHK第二	693
	3	NHK-FM宇都宮	80.3	TBSラジオ	954
	4	NHK-FM水戸	83.2	文化放送	1134
	5	——		茨城放送	1197
	6	——		ニッポン放送	1242
13 前橋	1	FM TOKYO	80.0	NHK第一	594
	2	FMぐんま	86.3	ラジオ日本	1422
	3	放送大学	78.8	AFN	810
	4	NHK-FM前橋	81.6	TBSラジオ	954
	5	——		文化放送	1134
	6	——		ニッポン放送	1242
				AM2	kHz
	1			NHK第二	693
14 甲府	1	FM-FUJI	83.0	山梨放送	765
	2	NHK-FM甲府	85.6	NHK第一	927
	3	——		TBSラジオ	954
	4	——		文化放送	1134
	5	——		ニッポン放送	1242
	6	——		NHK第二	1602
15 松本	1	FM長野	79.7	NHK第一	540
	2	FM長野	86.4	NHK第一	819
	3	NHK-FM長野	84.0	信越放送	864
	4	NHK-FM松本	84.8	信越放送	1098
	5	——		NHK第二	1467
	6	——		NHK第二	1512
16 静岡	1	K-MIX	79.2	NHK第二	639
	2	NHK-FM静岡	88.8	NHK第一	882
	3	——		TBSラジオ	954
	4	——		文化放送	1134
	5	——		ニッポン放送	1242
	6	——		静岡放送	1404

エリア	ボタン	FM1	MHz	AM1	kHz
17 津	1	FM三重	78.9	NHK第一	729
	2	ZIP-FM	77.8	NHK第二	909
	3	FM-AICHI	80.7	中部日本放送	1053
	4	NHK-FM津	81.8	東海ラジオ	1332
	5	NHK-FM名古屋	82.5	——	
18 新潟	1	FM新潟	77.5	NHK第一	837
	2	NHK-FM新潟	82.3	新潟放送	1116
	3	——		NHK第二	1593
19 富山	1	FMとやま	82.7	NHK第一	648
	2	NHK-FM富山	81.5	北日本放送	738
	3	——		NHK第二	1035
	4	——		北陸放送	1107
20 金沢	1	FM石川	80.5	北陸放送	1107
	2	NHK-FM金沢	82.2	NHK第一	1224
	3	——		NHK第二	1386
21 福井	1	FM福井	76.1	福井放送	864
	2	NHK-FM福井	83.4	NHK第一	927
	3	FM滋賀	77.0	NHK第二	1521
24 和歌山	1	fm osaka	85.1	ラジオ関西	558
	2	FM802	80.2	NHK第一	666
	3	NHK-FM和歌山	84.7	和歌山放送	1431
	4	NHK-FM大阪	88.1	ABCラジオ	1008
	5	——		毎日放送	1179
	6	——		ラジオ大阪	1314
				AM2	kHz
	1			NHK第二	828
25 鳥取	1	FM山陰	78.8	山陰放送	900
	2	NHK-FM鳥取	85.8	NHK第二	1125
	3	——		NHK第一	1368
	4	——		山陰放送	1431
26 島根	1	FM山陰	77.4	山陰放送	900
	2	NHK-FM松江	84.5	NHK第一	1296
	3	——		山陰放送	1431
	4	——		NHK第二	1593
27 広島	1	広島FM	78.2	NHK第二	702
	2	NHK-FM広島	88.3	山口放送	918
	3	——		NHK第一	1071
	4	——		南海放送	1116
	5	——		中国放送	1350
	6	——		AFN	1575
28 山口	1	FM山口	79.2	NHK第一	675
	2	NHK-FM山口	85.3	山口放送	765
	3	——		NHK第二	1377

エリア	ボタン	FM1	MHz	AM1	kHz
29 岡山	1	FM香川	78.6	ラジオ関西	558
	2	NHK-FM高松	86.0	NHK第一	603
	3	NHK-FM岡山	88.7	ABCラジオ	1008
	4	FM岡山	76.8	毎日放送	1179
	5	——		NHK第一	1368
	6	——		山陽放送	1494
				AM2	kHz
	1			西日本放送	1449
	2			NHK第二	1386
30 高松	1	FM香川	78.6	ラジオ関西	558
	2	NHK-FM高松	86.0	NHK第一	603
	3	NHK-FM岡山	88.7	ABCラジオ	1008
	4	——		毎日放送	1179
	5	——		NHK第一	1368
	6	——		山陽放送	1494
				AM2	kHz
	1			西日本放送	1449
	2			NHK第二	1035
31 徳島	1	FM徳島	80.7	ラジオ関西	558
	2	NHK-FM徳島	83.4	ラジオ大阪	1314
	3	——		NHK第一	945
	4	——		ABCラジオ	1008
	5	——		毎日放送	1179
	6	——		四国放送	1269
				AM2	kHz
	1			NHK第二	828
32 松山	1	FM愛媛	79.7	NHK第一	963
	2	NHK-FM松山	87.7	南海放送	1116
	3	——		中国放送	1350
	4	——		NHK第二	1512
33 高知	1	FM高知	81.6	高知放送	900
	2	NHK-FM高知	87.5	NHK第一	990
	3	——		NHK第二	1152
34 福岡	1	FM福岡	80.7	NHK第一	612
	2	FM佐賀	77.9	NHK第二	1017
	3	CROSS FM	78.7	RKB毎日放送	1278
	4	NHK-FM佐賀	81.6	九州朝日放送	1413
	5	NHK-FM福岡	84.8	——	
	6	LOVE FM	76.1	——	
35 北九州	1	FM福岡	80.0	NHK第一	540
	2	FM山口	77.7	九州朝日放送	720
	3	CROSS FM	77.0	山口放送	918
	4	NHK-FM北九州	85.7	RKB毎日放送	1197
	5	LOVE FM	82.7	NHK第二	1602

エリア	ボタン	FM1	MHz	AM1	kHz
36 佐賀	1	FM中九州	77.4	NHK第二	873
	2	FM佐賀	77.9	NHK第一	963
	3	FM福岡	80.7	熊本放送	1197
	4	CROSS FM	78.7	RKB毎日放送	1278
	5	NHK-FM佐賀	81.6	九州朝日放送	1413
	6	——		長崎放送	1458
37 長崎	1	SMILE FM	79.5	NHK第一	684
	2	NHK-FM長崎	84.5	長崎放送	1233
	3	——		NHK第二	1377
38 大分	1	FM大分	88.0	NHK第一	639
	2	NHK-FM大分	88.9	大分放送	1098
	3	——		NHK第二	1467
40 宮崎	1	JOY FM	83.2	NHK第一	540
	2	NHK-FM宮崎	86.2	宮崎放送	936
	3	——		NHK第二	1467
41 鹿児島	1	ミューFM	79.8	NHK第一	576
	2	NHK-FM鹿児島	85.6	南日本放送	1107
	3	——		NHK第二	1386
42 沖縄	1	FM沖縄	87.3	NHK第一	549
	2	NHK-FM沖縄	88.1	AFN	648
	3	——		琉球放送	738
	4	——		ラジオ沖縄	864
	5	——		NHK第二	1125

お客様メモ

●ご購入の際に記入しておいてください。修理などを依頼されるとき便利です。

品番	**CDF-MS11**
お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ販売店	
	電話　（　）　－

三洋電機株式会社
コンシューマ企業グループ
コンシューマ営業本部

三洋マルチメディアセールス株式会社
カーエレクトロニクス事業推進部
〒574−8534 大阪府大東市三洋町1−1
TEL（072）870−7084　FAX（072）870−4450

※住所、電話番号は予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。
お電話の際には電話番号をよくお確かめください。

2RR6P10A24700B Printed in Japan